

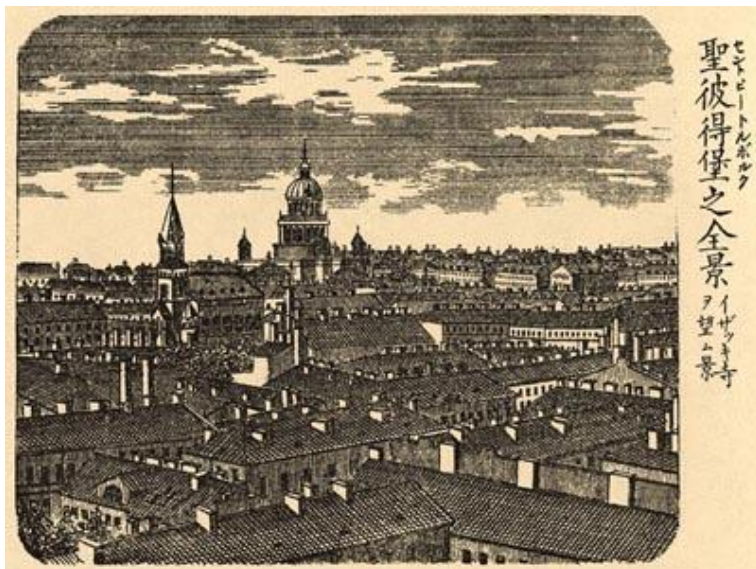
久米邦武編『特命全權大使米欧回覧実記』(1878) から、図版と、本文の図版に関連する部分を抜き出したものです。

## 第四編 欧羅巴大洲ノ部 中

### 目次

第四編 第六十二卷	サンクトペテルブルグ/聖彼得堡.....	2
第四編 第六十三卷	サンクトペテルブルグ/聖彼得堡.....	6
第四編 第六十四卷	サンクトペテルブルグ/聖彼得堡.....	12
第四編 第六十五卷	サンクトペテルブルグ/聖彼得堡.....	16
第四編 第六十六卷	北ゲルマン/北日耳曼 .....	18
第四編 第六十七卷	デンマーク/嚙馬 .....	22
第四編 第六十八卷	スウェーデン/瑞典.....	29
第四編 第六十九卷	スウェーデン/瑞典.....	33
第四編 第七十卷	北ゲルマン/北日耳曼.....	37
第四編 第七十一卷	北ゲルマン/北日耳曼 .....	39
第四編 第七十二卷	南ゲルマン/南日耳曼 .....	45
第四編 第七十三卷	イタリア/以太利.....	49
第四編 第七十四卷	フィレンツェ/佛羅綾 .....	51
第四編 第七十五卷	ローマ/羅馬 .....	53
第四編 第七十六卷	ローマ/羅馬 .....	59
第四編 第七十七卷	ナポリ/那不兒.....	63
第四編 第七十八卷	ロンバルディア・ヴェネツィア/ロンバルチー及ヒ威尼西 ....	69
第四編 第八十卷	オーストリア・ウィーン/墺地利道中並維納.....	77
第四編 第八十卷	ウィーン/維納 .....	82

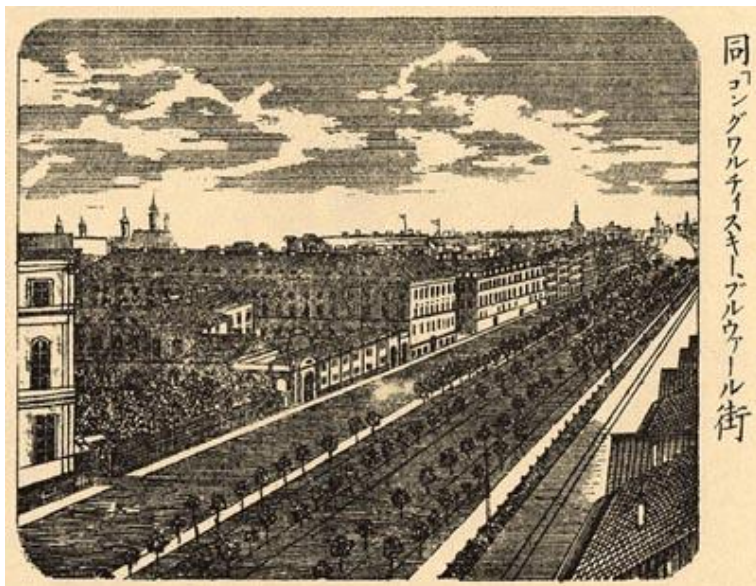
## 聖彼得堡之全景 〈「イザッキ」寺ヲ望ム景〉



明治六年三月三十日

聖彼得堡府ハ露西亜ノ都ニテ、北緯五十九度五十六分、東経三十度十九分ノ地ニ位ス、欧洲  
東北ノ僻隅ニテ、西南仏都ノ巴黎府ヲ距ル、一千五百五十英里、南方壘都ノ維納府ヲ距ル、  
一千百英里、海口ハ半年ノ間、堅氷ニ閉ラレ、甚タ不便ノ地ナレトモ、其繁昌ハ年ヲ逐テ盛  
ンニ、一千八百六十二年ニハ、人工六十六万七千〇二十六人アリ、去年仏国ノ大戦ニ乱ヲ避  
ケテ、来寓スル富商大賈甚タ多シトナリ

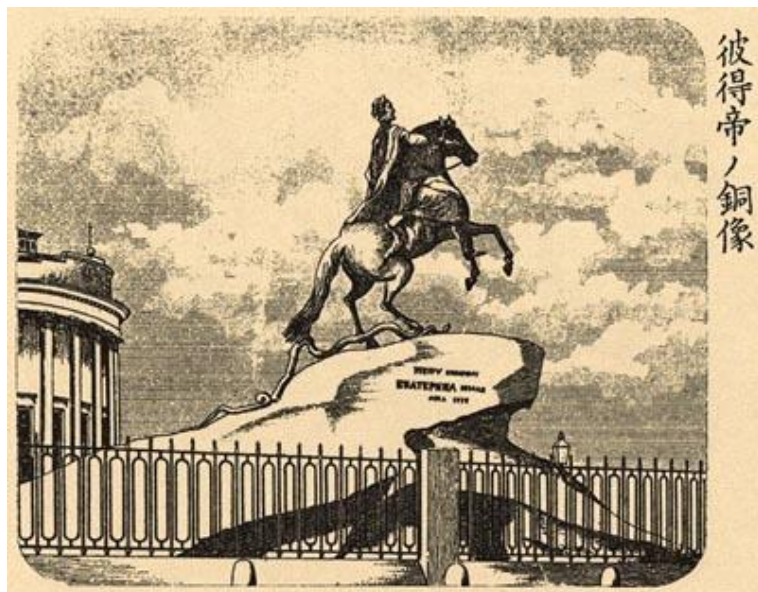
## 同「コングワルチスキ、ブルヴァール」街



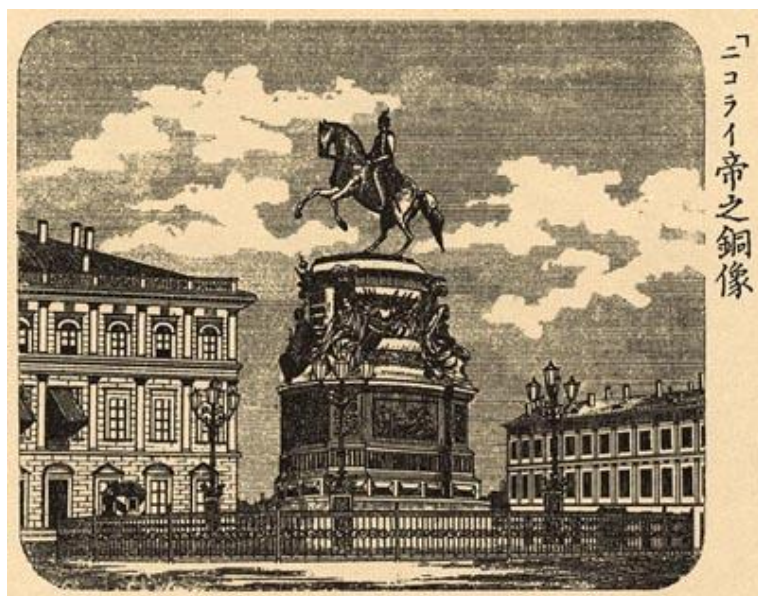
明治六年三月三十日

府中第一ノ通街ヲ「コングワルチスキ、ブルヴァール」街トイフ、広濶ナル大路ヲ開キ中央ノ車道ニ、両行ノ並木ヲ植エ、中ニ騎馬ノ道ヲ修ム、美麗ナル街ナリ、又城門通りノ通街ハ、両側ニ巨大ノ市店ヲ連ネ街路広ク、人車雑沓シ、百貨ヲ羅列シテ、繁華ナルコト、府中第一ノ衝地トナス

## 彼得帝ノ銅像



## 「ニコライ」帝之銅像

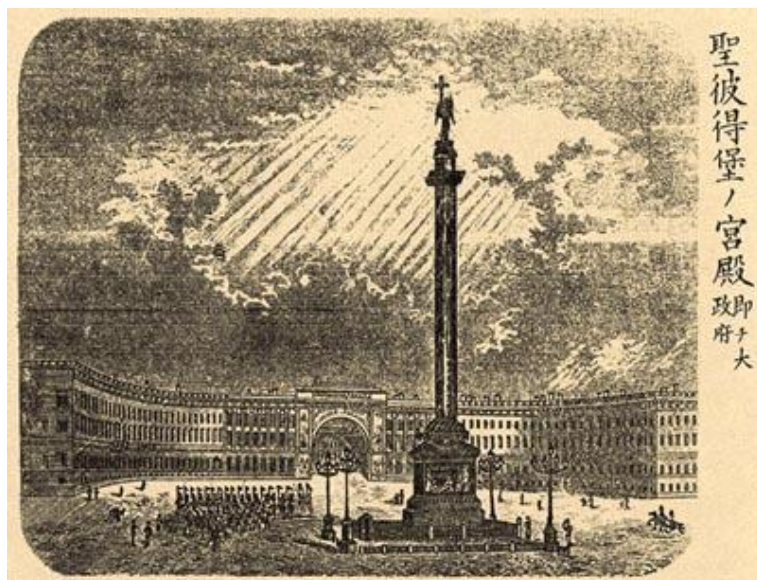


明治六年三月三十日

「カザンスキ」寺ハ、其市街ノ中ニアリ、円規ノ長廊ヲ造リ、白石ノ巨柱ヲ列ネテ成ル、  
羅馬聖彼得寺ノ半幅ヲ摸倣セルナリ、又「イザッキ」寺ハ、同寺ノ本堂ヲ摸シタルモノニ

テ、府中第一ノ大寺ナリ、此他「スマリマーモースチリ」寺ハ、希臘風ノ建築ニテ、宝珠塔数箇ヲ以テ頂トナス、亦大寺ナリ、「ネワ」河ニヨリテ眺望甚タ快シ、此他「ネワ」河ニソヒテ爽恢ナル街路多ク、彼得大帝ノ騎馬像、及ヒ先帝「ニコライ」ノ騎馬像等、巨大ノ銅像、石彫ヲ造リテ、要達ニオク、皆府中眼目ノ觀ナリ、我一行ノ此府ニ滞在セシハ、僅ニ雪解ケノ候ニテ、氷融街路ヲ汚シ、草木凋萎シ、雲陰雪雨ノミ多カリシニヨリ、光景殊ニ荒涼ヲ覺ヘタレトモ、盛夏ノ候ニナレハ、天晴レ氣暢ニ、美觀ヲ生スルナルベシ

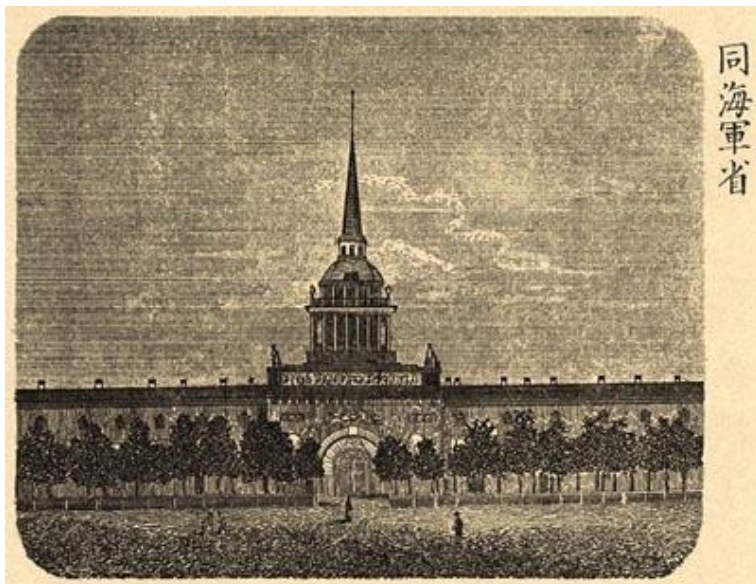
## 聖彼得堡ノ宮殿 〈即チ大政府〉



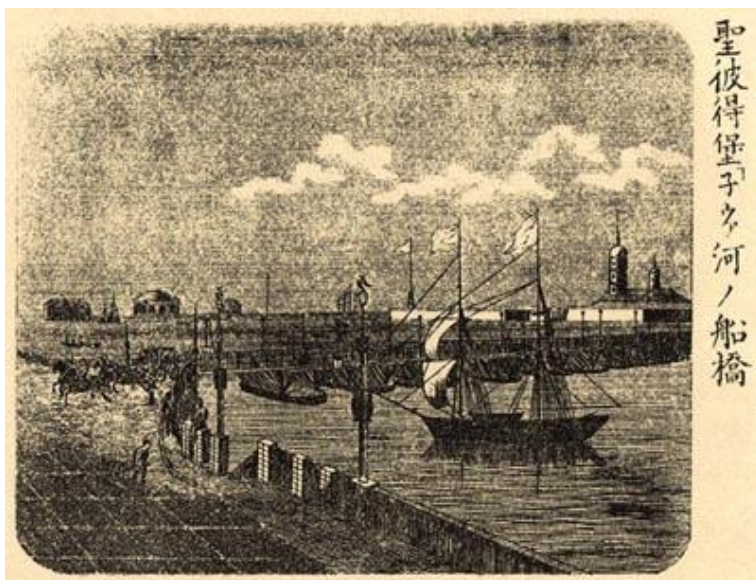
明治六年四月一日

露国ノ政事堂ハ、皇帝表向キノ宮殿中ニアリ、外務其他ノ内閣各省モ、併セテ其内ニアリ、故ニ府中ニテハ、概シテ之ヲ帝宮ト称スルナリ、此帝宮ハ、背ハ「ネワ」河ノ最モ濶ナル岸ニヨリ、彼得城ト岸ヲ隔テ、相望ム、前ハ白石ノ高閣ヲ円規ニ築キ起シ、中央ノ処ニ大ナル洞門ヲ開ク、其前ハ美麗ニ整石ヲナシタル大達ニテ、四面ハ高キ楼屋ニテ周回シタレトモ、広達ノ甚タ濶ナルニヨリ、回望ノ恢廓ナルコト人意ヲ快ニス、此处ノ氣象、宏麗壮大ナルコト、巴黎倫敦ノ外ハ其比ヲミサルベシ、広達ノ中央ニ、高塔ヲ建ツ、塔基ハ巨石ヲ以テ造ル、高ク雲表ニ上リ、頂ニ神女ノ像ヲ安ンセリ、府中ニ高塔三アリ、一ハ彼得城ノ菩提寺ノ堂尖ナリ、二ハ「ネワ」南岸ノ遊園中ニアリ、此宮闕前ノ塔ヲ併セテ三ナリ、共ニ府ノ標的トナスヘシ

## 同海軍省



## 聖彼得堡「ネウア」河ノ船橋



明治六年四月五日

晴

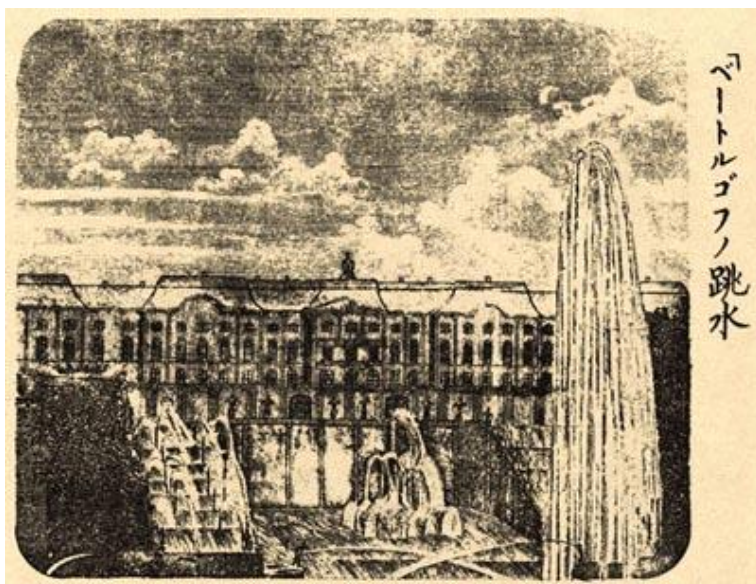
朝十時ヨリ「ネウ」河氷上ノ仮橋ヲ歩涉シテ、彼得城ニ至ル、歐洲ノ北部ハ、嚴冬ニ氷結シ、車行スヘキコトヲ聞タレトモ、此回ノ行ニ堅氷ヲ歩涉セシハ、前後ニ唯此都ニテ一度アルノミ、此河ハ、年々第十月ニハ已ニ固結シ、海港十五六英里ノ水面、全ク玲瓏タル白野トナル、氷ノ厚サハ三尺ニスク、土民氷上ニ松樹ヲ栞リテ、路岐ヲ標シ、馬車雪橇ニ乗テ奔馳ス、其輪轍ノ泥土、漸々ニ氷面ヲ汚シ、条々ノ路、ミナ土泥ヲ以テ修メタルカ如シ、車馬ノ至ラサル所ハ、一望銀世界ノ如シ、間ニ洞明ヲナシテ、水底ノミユルハ、正ニ漸解セントスルニ似タルアリ、是ハ白雪ノ融拌シタル後ニ、又凍リタルナリ、表面ヨリハ、薄氷僅ニ凝ルカ如キモ、尚厚サ数尺ナリト、都府ノ要衝ニハ、氷上ニ基礎ヲ設ケテ、仮橋ヲ架シ、或ハ壮大牢固ナル船橋ヲ釘連ス、兩岸ニ泊セル船舶ハ、ミナ氷ニ錮セラレ、動ク能ハスシテ大半年ヲ度ル、春氷ノ解ケル頃ニハ、掌河ノ官吏ヨリ測量ヲナシテ、河岸ニ路留ヲナス、是ヨリ氷上ニ人馬ハ絶ユ、海口ニ於テハ氷ノ始メテ解ケルトキ、厚氷ノ大片ニ、車ヲ載セテ舟ニカヘ、潮勢ニ従ヒ、漂揺ニ任セ、柁ヲトリテ往クモアリ、漁人ハ氷田ニ穴ヲ鑿リ、氷上ニ火ヲ燒キ、穴ヨリ網罟ヲイルレハ、魚ハ温氣ニ賺サレ、其辺ニ集ル、因テ獲ル所甚タ多シトナン、我一行ノ滞留セル頃ハ、正ニ氷解ノ候ニテ、空気温和ナレトモ、氷凝ハ依然タリシカ、昨四日ヨリ氷上ノ車馬ヲ止メタリ、帰ル頃ハ激艶トシテ波ヲタハヨハセタリ



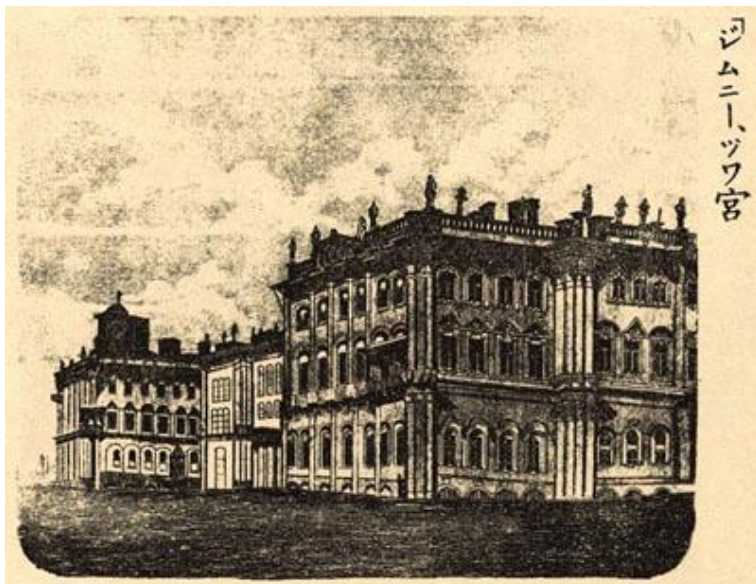
## 同海岸王宮ノ裏面



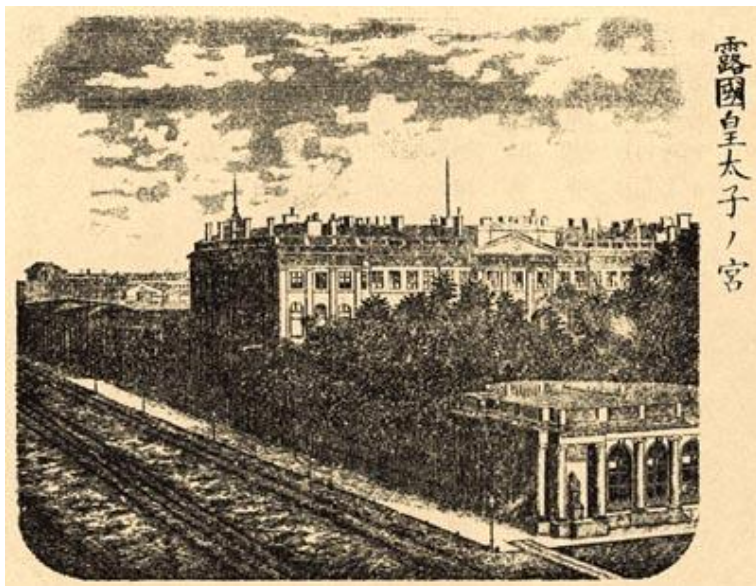
「ベートルゴフ」ノ跳水



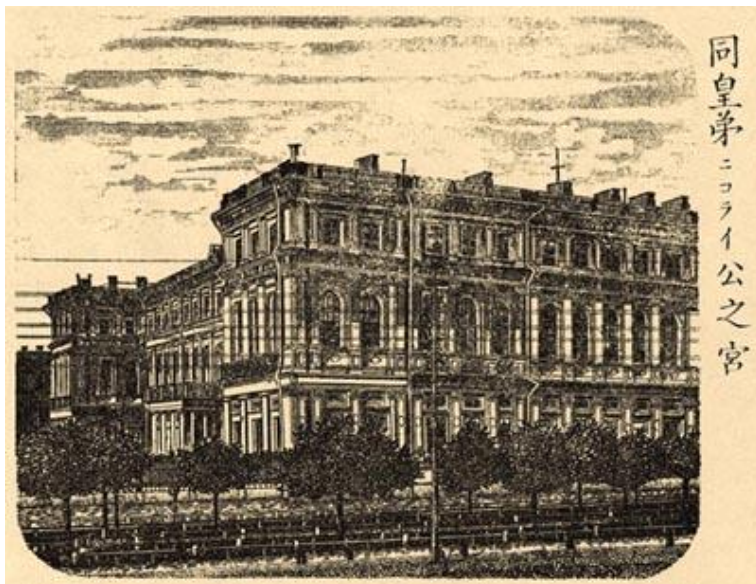
「ジムニー、ツワ」宮



露国皇太子ノ宮



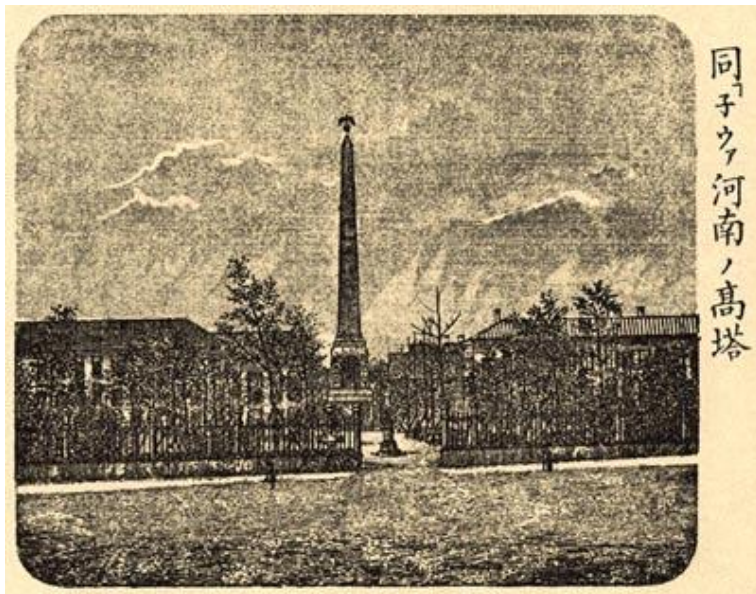
# 同皇弟「ニコライ」公之宮



# 聖彼得堡運河ノ岸



同「ネウア」河南ノ高塔



同「ネウア」河南ノ高塔

## 聖彼得堡「ニコライ」橋



明治六年四月十日

是ヨリ「ニコライ」橋ヲ越エテ帰ル、ニコライ橋ハ「ネワ」河ニ架渡セシ石橋ニテ、長サ二百五十間モアリヌベシ、其入費三百万「ルーブル」ヲ用ヒテ落成セリ、府中ニテ第一ノ美橋ナリ、此辺ハ河ノ兩岸ニ、壯麗ノ屋ヲ駢へ、河濶ニ路広ク、「イザキ」寺ヲ望ミテ、風景モ甚タ美ナリ



## 同「ネウア」河岸礦山器械博物館

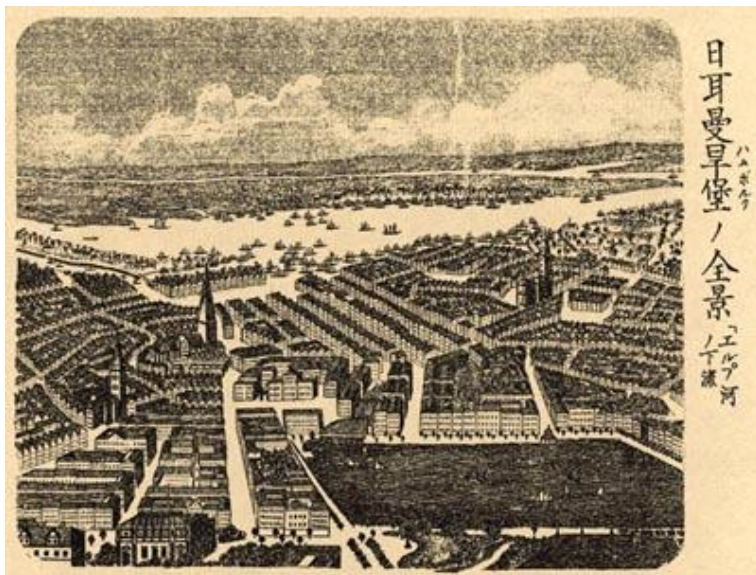


明治六年四月十日

夫ヨリ河南ナル、礦山学校ノ博物觀ニ至ル、此觀ハ「ネワ」河ノ岸ニアリ、歐洲ニテ礦山ニ富ミタル国ハ、英、白、普、露ノ四国ヲ魁トス、露国ハ領地ノ曠濶ナルコト世界ニ冠タリ、多クハ荒寒不毛ノ野地多ケレトモ、礦山ノ利ハ甚タ多シ、只其運漕ニ便ナラサルヲ以テ、開採シテモ利乏シキノミ、

烏拉山ヨリハ、鉄、銅、銀、白金ヲ出ス、又硫黄ヲモ出ス、ミナ開採シテ其利ヲ受ク、大抵此山ノ脈ハ、北緯五十四度ヨリ、六十度ノ間ニ鉞物多シ、東麓ニハ金属ニ富ム、西麓ニハ石炭「マァール」石膏（共ニ肥糞ニ用フ）硫黄銅ヲ出ス、此山ニ礦山ヲ業トスルモノ甚タ多シ、「ペルム」ノ地ノミニ於テモ、工夫十萬ニ及フト云

## 日耳曼早堡ノ全景 〈「エルプ」河ノ下流〉



明治六年四月十七日

早堡府ハ、北緯五十三度三十二分五十一秒、東經九度五十一分三十三秒ノ地ニ位シ、人口二十四万〇二百五十一人（一千百七十二年ノ統計）アリ、日耳曼ニテ伯林ヲ除クノ外ハ、此府ヲ第一ノ都会トス、「エルプ」河ニヨリテ伯林ト相漕運シ、「ノールデ、レルベール」河ニテ「カッセル」及薩撒国ノ地ニ、呼吸相通ス、府ノ市街ハ、兩河ノ交会スル地ニ抛リ、河流ハ前ヲスキ、余水ハ後ヲ浸シ、連葦ハ其間ニ湧起シ、運河ヲ縦横ニ通シ、中ニハ沼池ヲ湛へ、屋造潔ニ市街美ナリ、人烟ノ稠密ハ、伯林ニ及ハサレトモ、清潔繁華ハ反テ之ヲスキルカ如シ、河口ニ舟船ノ輻輳セルハ、蟻ノ如ク群附シ、林ノ如クニ森立セリ

## 同「アルステル」池前ノ繁花



明治六年四月十七日

「ヨーロッパホテル」ハ府ノ中部ナル「アルステル」池ノ前ニアリ、此池ハ正方形ニテ、三面ノ岸ニ広街ヲ開キ、一面ハ大道汽車道ヲツクリ、橋ヲ架シテ前ナル沼湖ニツゝル、尤モ勝景ノ域ニテ、諸貨ノ肆ハ綺羅ヲナラヘ、岸上ニハ樹ヲウエ園ヲ修メ、池上ニハ游船ヲ浮ヘ、汽車ハ橋ヲスキ、溝渠ハ市中ヘ航ス、此日ハ空気晴朗ニテ、聖壁ハ皎然トシテ、方池ニ鑑ミ、層層ノ烟花ヲ簇ラシ、高坡ノ上ニ連リタル、其気色甚タ麗シ、回想スレハ三日以前ハ、猶露国ニ於テ氷融ノ候ニ住シ、雪ヲ踏ミテ発車シ、荒野ノ泥路ヲ走り来リ、翌日東海省ヨリ、東普魯生州ヲ過ルマテハ、麦苗ヤ、長シ、樹葉未タ展ヒス、「ボルチック」ノ海風料峭タルハ、猶是春分ノ光景ナリシニ、昨日「ホメラニヤ」州、梅格稜堡ノ平野ニ至レハ、隴麦モ緑雲ヲ動カシ、樹樹軟翠ヲ展ヘ、烟戸ノ寥落タルモ、春ハ已ニ七分ニ至レリ、今此地ニ至レハ、駘蕩ノ和風ハ、花柳ノ間ヲ吹度リ、烟火ノ間ニ、花気芬芳トシテ緑野ノ霞ニ連リタルヲミル、三日間ニ三春ヲ閲ス、汽車ノ快モ、亦極ルト謂フヘシ

早堡「エルプ」河岸〈「バンク、オフ、エルフ」ト云〉



同所遊苑ヨリノ眺望



明治六年四月十七日

「バンク、オフ、エルフ」ノ河岸ハ、「エルフ」河ノ下流ナル北岸ニアリ、岸ニハ棧橋ヲ架シ、舟ニ上ルニ便ニシ、岸上ニハ、一条ノ大道ヲ通ス、甃石ニカヘテ浄沙ヲ撒ス、路修リテ車輪ニサハラス、道傍ヨリ丘岡ヲ起ス、岡上ニ古城アリシヲ、今ハ修メテ遊苑トナス、即チ「バンク、オフ、エルフ」ノ苑ナリ、両岡谷ヲ抱キ、中ニ懸橋ヲ架シテ相綴ル、前岡ニハ水卒病院アリ、遊苑ノ樹ハ、喬ク清陰ヲナシ、地ニハ軟艸ヲ蒔息シ、榻牀ヲオキテ游人ヲ站憩セシム、此ヨリ西南ヲ望メハ、「エルフ」ノ下流ヲ一覽シ、河流広濶ニ、中ニ、碇泊ノ舶ハ、林立ノ檣ヲ叢メ、走舶ハ烟ヲ噴キ帆ヲ張り、一帯ノ鏡面ニ点綴ス、眺望恢朗ナリ

「コッペンハーゲン」府海岸ノ景



同海口ノ景



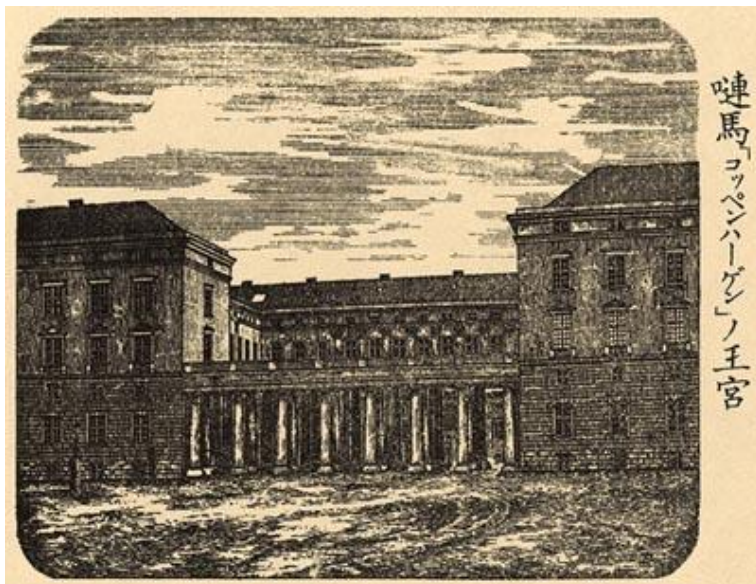
## 「コッペンハーゲン」府運河ノ港



明治六年四月十八日

「コッペンハーゲン」府ハ「セーランド」島ノ東ニアリ、瑞典国ト峽水ヲ隔テ相對ス、北緯五十五度四十分、東經十二度三十五分ノ地ニ位シ、人口十八万一千二百九十一人アリ、直径約二英里、周回六英里、不規則ナル円形郭ヲナシ、「ボルチック」海水ヲ引テ、溝渠ヲ回シ、海面ニハ墨丘ヲ設ケテ、砲台ヲ備ヘ、陸面ニモ土丘アリテ、砦壁トナシタリ、此都ノ港湾ハ、甚タ広ク一干艘ノ舟舶ヲイレテモ余裕アリ、其港口ハ甚タ窄狭ニシテ、只一雙ノ往来ヲナスヘシ、而テ水深ク、大船ヲヤルニ妨ケナシト、府中ヲ三部ニ分ツ、旧府、新府及ヒ「キリスチャンハーゲン」ト云、旧府ノ地ニハ、市塵輻輳シテ繁華ノ地ナリ、新府ニハ、王族貴戚ノ邸宅多シ、歐洲北部ノ麗都ナリ

## 唎馬「コッペンハーゲン」ノ王宮

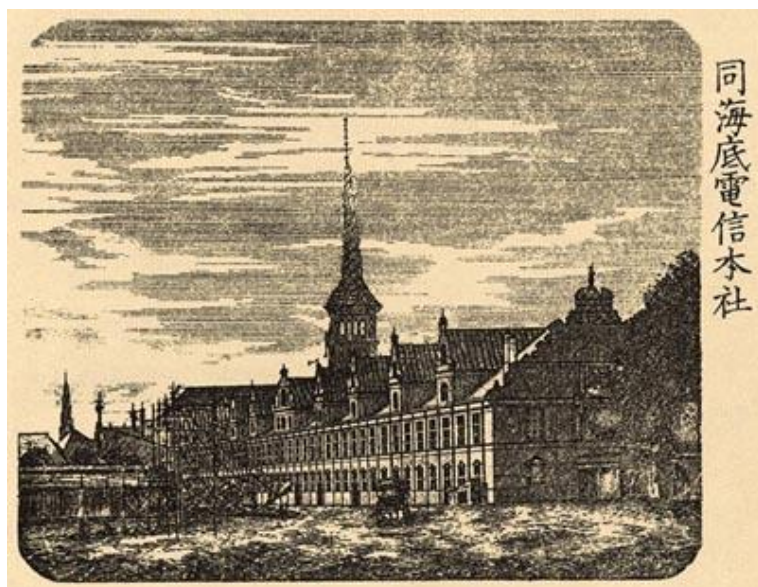


明治六年四月十八日

夫ヨリ王宮ニ至ル、此宮ハ二百年前、唎国ノ「ボルチック」海浜ニ、勢力ヲ振ヒシトキ造  
営セルモノニテ、建築ハ甚タ広大ナラサレトモ、内景ノ美ハ、伯林ノ王宮ニ亜スヘシ、其  
壯麗ナルコト人ヲ驚カス、此ニ代代ノ国王ミナ居住セルヲ以テ、器什ノ蓄ヘ夥多シ、壁ニ  
ハ多ク仏産ノ「ゴブラン」ヲ張ル、二百年来ノ古物ニテ、殊ニ価アルモノナリ、画額ニモ  
名筆ノ目ヲ醒スモノ多シ、陶器モ又多シ、劍、矛、大小銃、象牙、銅、鋳、金、銀、石  
等、精工ナル器多シ、先王ハ殊ニカハル器什ヲ好ミ、意ヲ用ヒテ集蓄セルヲ以テ、殊ニ周  
備セリト云



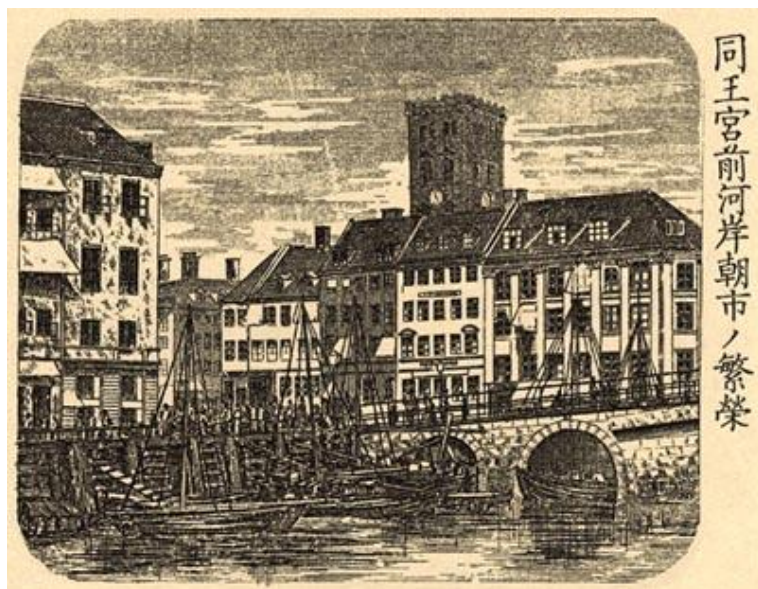
## 同海底電信本社



明治六年四月二十日

六時ヨリ府中ノ人ノ招キニヨリテ、電信会社ニ赴ク、噠馬ノ海外電信会社ハ、我日本ヘモ条約シ、上海ト長崎トノ海底線ヲ設ケタル程ナレハ、其盛ナルコトヲ想像スヘシ、此日ハ会社中ニ饗筵ヲ設ケ、会食ノモノ二百人、此会社ノ屋造ハ、高宇ニアラサレトモ、屋上ニ螺旋ノ尖柱ヲ駢植シテ、奇偉ノ建築ヲナシタル長廡ニテ、府中ニテ眼目トナル屋造ナリ

## 同王宮前河岸朝市ノ繁栄



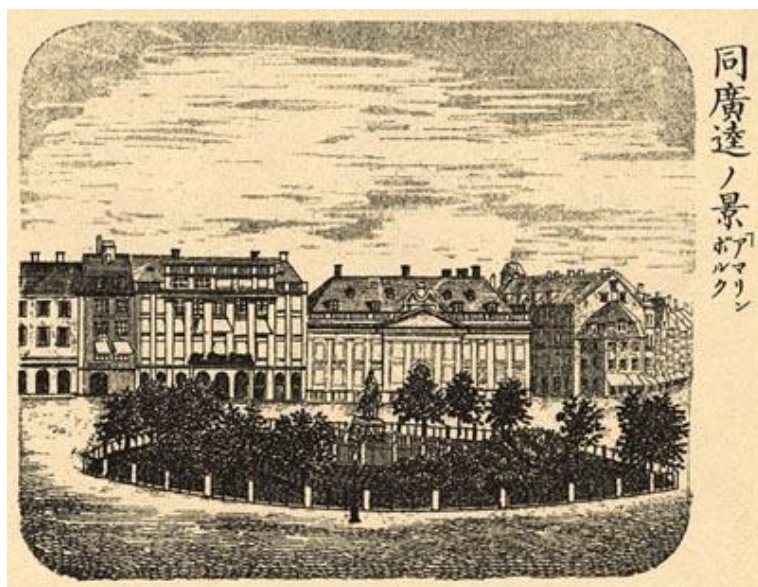
明治六年四月二十二日

一千八百〇八年ニ、英ノ水師提督「ネルソン」氏ニ襲撃セラレ、三十六艇ノ軍艦ヲ以テ、港上ニ戦ヒ烈戦ヲ遂ケ、殆ト「ネルソン」氏ヲ悩シタレトモ衆寡敵セス、此時ニ府中ハ、多ク其兵火ニテ焼レタリ、噠国ノ兵、強健ナレトモ、国小ニ、屢大国ノ悩ス所トナル、国人ノ意気ハ猶激励シテ屈セス、文武共ニ秀テ、質素ニシテ生業ニ惰弱ナラス、交際ニ信義アリ、風俗質素ナリ、故ニ府中ノ市店、頗ル繁鬧ナレトモ、輕靡奢侈ノ品ニ乏シク、学芸ニカハル器械多シ、運河ノ岸ニハ、近郡ナル田舎ノ婦人、古制ノ服ニ、白布ノ帽ヲ冠ムリ、魚菜ヲ包袱、編筐ニ盛リテ、市ヲナシテ販売ス、府中ノ奴婢、此ニ集リ買フ、「ホテル」前ハ、殊ニ要区ニテ、朝々鬧シク、以テ十時ニ及ヒ散ス

「コッペンハーゲン」府ノ市街



同広達ノ景 〈「アマリンボルク」〉



明治六年四月二十二日

朝雪ヲ飛ス霏々タリ

当府ノ緯度ハ、英ノ壺丁堡、露ノ莫斯科ト同緯度ナリ、此時ハ正ニ小満ノ候ナルニ、氣候ハ猶寒ク、雪ヲ飛スコトモアリ、樹枝僅ニ芽ヲ吹カントス、然レトモ日ニ駸々トシテ温暖ニ赴ク、

此日ハ回覽セル所ナシ、市中ヲ散歩セルノミ、噓ノ国都ハ、寂寞ニテ美觀少ケレトモ、屋造ニハ頗ル觀ルヘキ建築多シ、王宮「セントニコライ」寺、電信会社、海岸ノ砲台、「タウンホール」等、其眼目ナリ、新府ノ区域中ニ、「アマリンボルク」ト呼フ所アリ、「フレテリッキ」第五世ノ開キシ広達ニテ、市街ノ線路、此ニ輳集シ、八辻ケ原トモ名クヘキ地ナリ、全面ニ石ヲ整シ、中央ニハ花園ヲ修メ、「フレテレッキ」第五世騎馬ノ銅像ヲ、高キ白石ノ台上ニタツ、此価四万五千「ポント」ヲ費シタリトナン、広達ノ四周ハ、王族ノ居邸ニテ、造構壯麗ナリ、中ニハ肆店ナトモアリ、又此近傍ニ、前時女王ノ宮殿ヲ以テ、詩歌、画図、彫像等、雅芸ノ学校ヲ設ケタリ

## 瑞典「ストックホルム」府ノ全景



明治六年四月二十四日

「ストックホルム」府ハ、北緯五十九度二十分、東経十八度三分二位シ、人口十三万八千五百十二人アリ、「マーラル」湖ノ尾「ボルチック」海口ノ上ニ控フ、「マーラル」湖ハ水面積七百六十三方英里ノ大湖ナリ、湖尾分裂シテ、九島ヲナシ、清水周回シ、河峡ヲナス、岸上ニハ、岩嶺石岡アリ、甚タ高カラス、島上ニハ、多ク地ヲ削リテ平坦ニシ、市屋ヲ建ツ、衆島錯落、石橋ヲ以テ接続ス、地ニ石多ク、石造建築ニ便利ナルヲ以テ、屋宅尽ク美ナリ、以テ地ヲ整シ、岸ヲ築ク、王宮ハ其中央ナル「ルタテン」島ヲ占メテ起ル、湖水乍チ開ケテ又分レ、府中ノ連薨、半ハ陸地ニ湧キ、半ハ島岬ニ立ツ、各官衙寺院、其間ニ聯綴ス、ミナ壮大ニテ、風景ハ画ノ如シ、只奇峰層嶂ナキヲ恨ムノミ

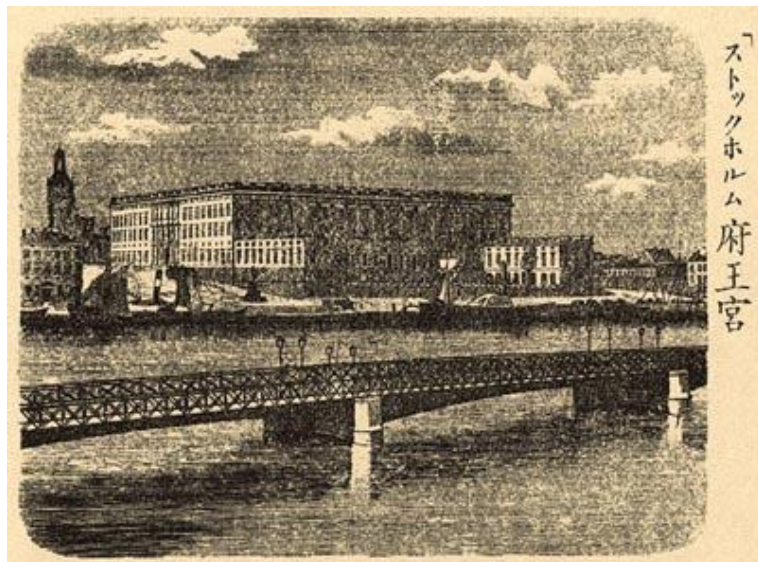
## 同府旅館前商店ノ景



明治六年四月二十四日

「ホテル」ハ、王宮ノ近傍ナル港河ノ南岸ニテ、恢濶ナル域ニアリ、白鷗乱飛シ、船舶雲集シ、前ニ大橋アリ、左ニ運上所アリ、広廷ヲ前ニシ、先王ノ馬上ノ像ヲ安シ、府中ニテ最モ眼目ノ景地ナリ、総テ此都府ハ、地磐ニ花剛石ヲシキ、清キ湖水中ニアリ、松林ニテ緑色ヲ粧ヒ、蒼石ニテ家屋ヲ連ネ、層層トシテ碧波ニ映スルハ、如何ニモ浄潔ナル都府ニテ、全欧ニナキ氣象ナリ

## 「ストックホルム」府王宮



明治六年四月二十五日

午後雪甚シ、一時半ニ宮内省ヨリ御車三輛ヲ装ヒ、御者盛装シテ来リ迎へ、王宮ニ於テ、「ゴ  
スタフ」第一世陛下ニ謁見ヲナス（謁見式ニ詳カナリ）

# 同政事堂





# 「ストックホルム」府 〈「スカンデネヴィヤン」博物館〉



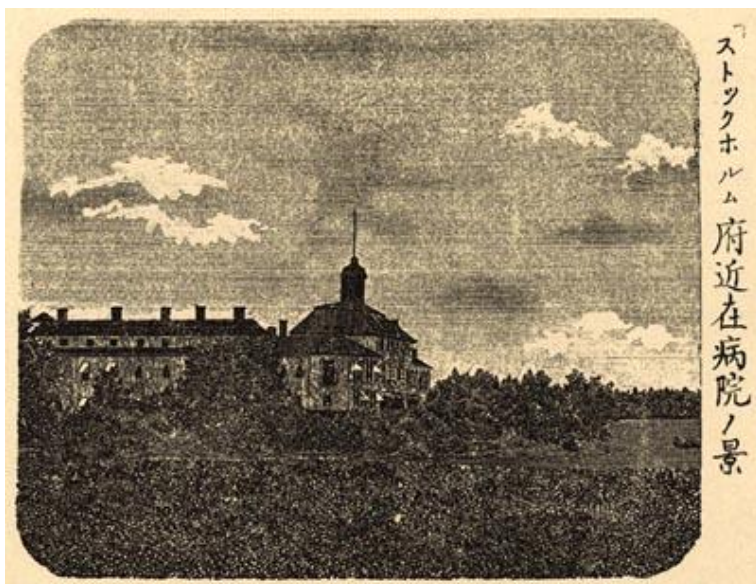
明治六年四月二十六日

午後二時ヨリ、博古館ニ趣ク、是ハ王宮ト河ヲ隔テ、対セル地ニアリ、造営宏大ナリ、彎弧ノ柱ヲ以テ鑿成ス、高サ三層、毎層高朗ニテ、内景ノ彫刻、金光爛然ナラサレトモ、画彩ニ綺縵ヲキハム、此館ハ、当国ノ振古四千年前ヨリ用ヒタル物ヲ陳列ス、所謂ル「スカンデネビヤン」ノ古物ナルモノナリ

# 同河橋ノ景



## 「ストックホルム」府近在病院ノ景



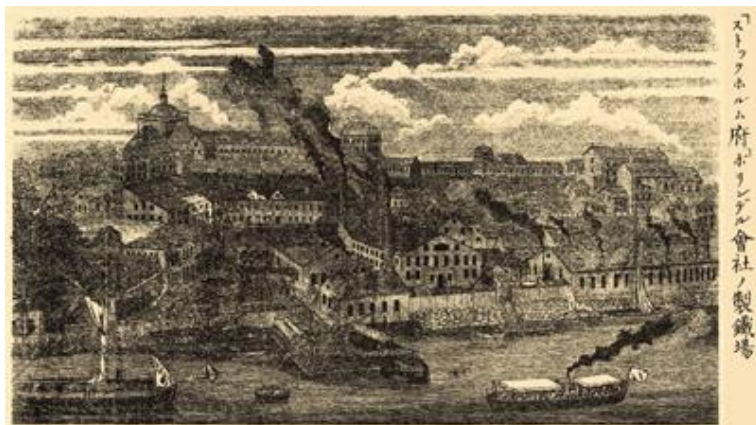
## 同湖山ノ景



明治六年四月二十七日

是ヨリ病院ヲスキテ、兵学校ニ至リ、其域中ノ岡上ニ上リ、湖上ノ景ヲ一望ス、風光絶佳ナリ、前ニハ湖ヲ隔テハ一村アリ、此村中ニ牢獄一区ヲ建ツ、空気ノ清浄ナルヲ扱ミテ建タルナリ、是ヨリ二英里行ナラスシテ「ストックホルム」ニ達ス

## 「ストックホルム」府「ボリンデル」会社ノ製鉄場

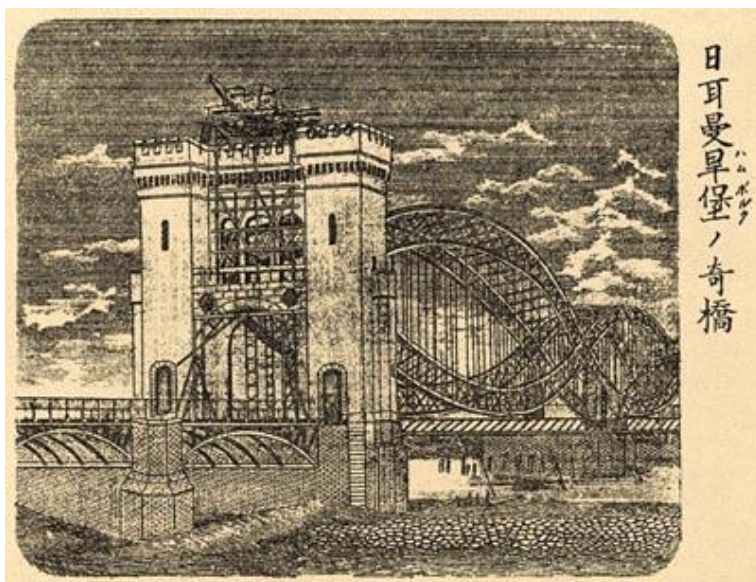


明治六年四月二十八日

「ボリンデル」社ノ製鉄場ハ、二十年前ニ始メテ建テ、次第ニ盛備ヲナセリ、今ハ職人ヲイルハ日ニ五百人、其給料ハ、造船場、木製場ニ略同シ、製スル所ノ器械ハ、鍛成アリ、鑄成アリ、多ク「ベシマ」法ノ熟鉄ヲ用フ、此法ノ鉄ハ、靱軟ニテ工ヲナスニ利便ナリト云、此社ノ所轄ニテ、別ニ熟鉄ヲ製スル場アルトナン、

蒸気ノ輪其力甚タ巨大ナラス、「ダライバンク」「ハマー」ノ設ケアリ、汽鐘ヲ緊釘スルニハ、人カヲ以テス、鉄ヲ熔スル鑪ハ、一種ノ發明アリテ、風氣ヲ鼓スルノ機工ヲナシ、火力ヲ猛烈ニシ、鉄ト石炭ヲ上ニ盛り、其溶解シタルヲ下ニ溜ム、中腹ヨリ火鑪ヲ振り回シテ、内部ノ状ヲ示セリ

## 日耳曼早堡ノ奇橋

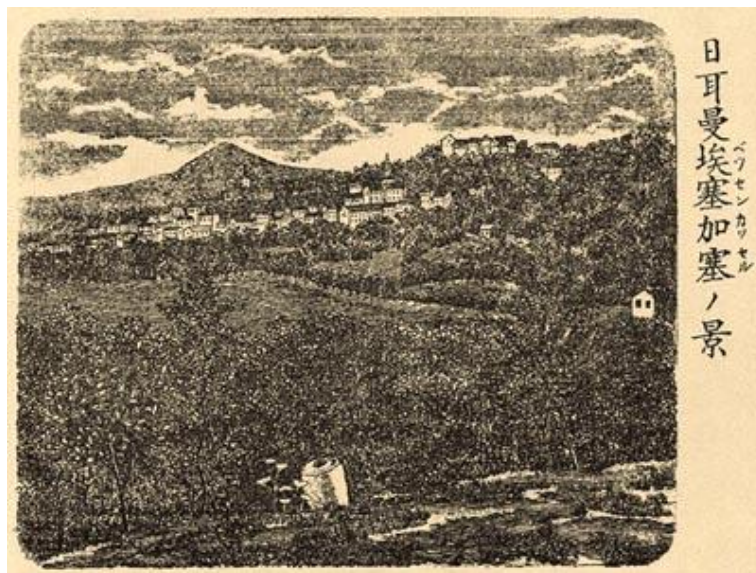


明治六年五月三日

晴

朝六時半ヨリ、早堡ノ旅館ヲ発シ、七時十五分ノ蒸気車ニテ南発ス、府ヲ出レハ「アルステル」河橋ヲ越ユ、此橋ハ独逸ニテ著名ナル奇橋ナリ、箆紋形ニ鉄ヲ編成シ、以テ橋欄トナシ、蒸気車ト人行ト、欄ヲ設ケテ区別ヲナセリ

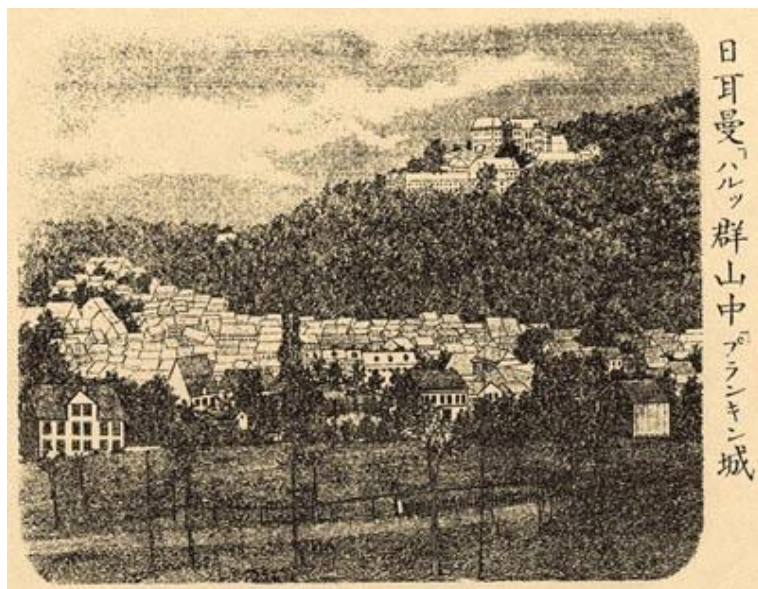
## 日耳曼埃塞加塞ノ景



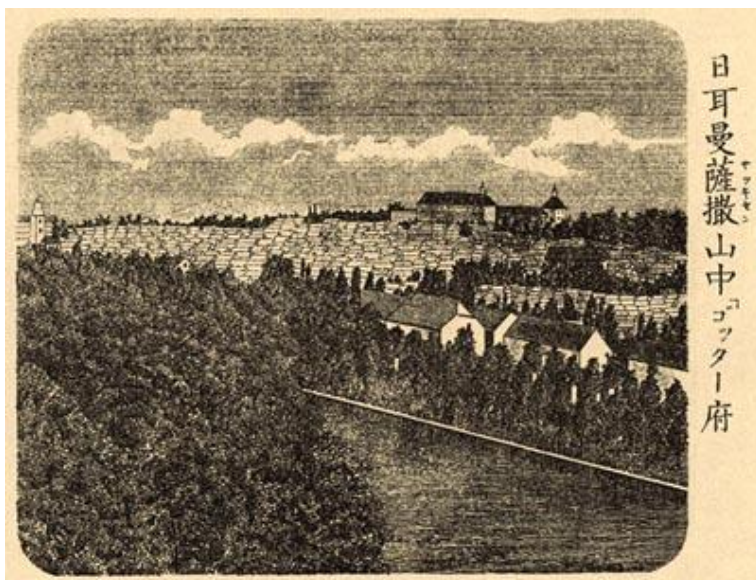
明治六年五月三日

加塞府ハ元埃塞加塞国ノ首府ナリ、此国ハ上公爵ノ君ヲ奉シ、幅員三千七百四十方英里、人口七十二万七十余ヲ有セシニ、一千八百六十六年、普墺ノ戦ニヨリテ、普国ヨリ滅サレ、今ハ拿騷州ニ隸セリ、此「カッセル」府ノ地タル、山ヲ負ヒ河ニ臨ミ、北緯五十三度二十二分東經九度四十分ノ地ニ位ス、人口四万三千百〇六人アリ、普魯士國中ニテ、第二十ノ都会ナレトモ、風景甚タ美ニ、頗ル高名ノ都府ナリ

# 日耳曼「ハルツ」郡山中「プランキン」城



## 日耳曼薩撒山中「ゴッター」府

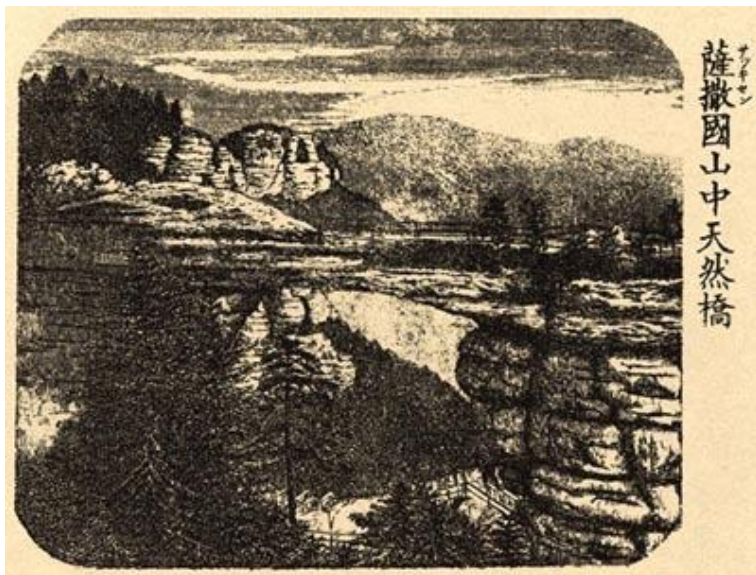


明治六年五月四日

「ゴッター」ハ、南北ニ山脈ヲ環シテ、中央ニ原野ヲ開キ、頗ル富沃ト称ス、「ゴッター」府ノ人口ニ万、此辺山原ノ小都会ナリ、「ネッセ」河ニ臨ム、此河ハ北ニ流レテ「ウェイセル」河ニ会ス（不来梅港ノ河流）、国公ハ此ニオル、両部ノ人民、ミナ「ルーサー」教ヲ奉シ、貨幣ハ「コー」堡ニテハ「フロレン」ヲ用ヒ、「ゴッター」ニテハ「ターラー」ヲ用ヒ、日耳曼此兩種貨幣ノ分チハ、蓋シ此ヲ境界トスルコト、猶河流ノ南北ヲ分ツニ比ス



## 薩撒国山中天然橋



## 同岩嶂ノ景

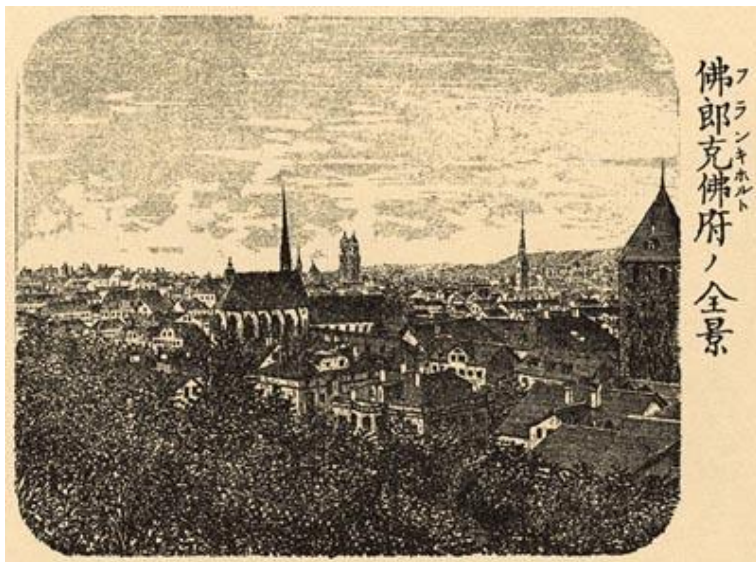


明治六年五月四日

此地ニハ「エルス」ノ山脈、峰峰ヲ抽テ、嶄嶄奇峻ニシテ、溪瀉キ泉咽ヒ、怪巖ハ奇骨ヲ露シ、時ニハ懸瀑飛湍ヲナシ、甚タ風勝ニ富ム、中ニモ「エルプ」ノ河源溪壑ヲ分ツテ周回シサル処ニハ、快爽ノ風景多シ、日耳曼人此ヲ「サッキセンシワイツ」ト称ス（薩撒ノ

瑞西蘭トイフ意ナリ)、特ニ山水ノ秀麗ナルノミナラス、人民ノ生理モ、亦早ク昌運ヲ開  
キ、文物ノ盛、製作ノ精、亦其山水ニ相類ス、文人藻客、行旅商賈、皆此都ニ游ハンヲ思  
フトナン

## 仏郎克仏府ノ全景



## 同米因河ノ景

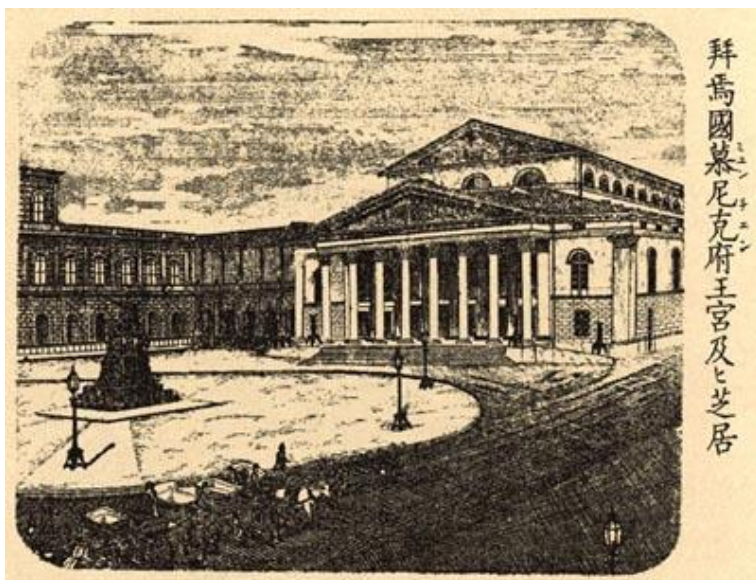


明治六年五月四日

仏蘭克弗「オンセ」米因府トハ、普国ノ仏蘭克弗「オンセ、オデル」ニ分別セル名称ナリ、北緯五十度十分東経八度三十七分二位ス、人口九万〇九百三十二人ノ都会ナリ、元ハ独立都府ニテ、共和政治ヲ以テ、聯邦ニ加ハリ、且独逸聯邦ノ政府モ、此府ニ設ケタリシニ、一千八百六十六年ノ戦ヒニ、普国ニ、滅サレ、今ハ其州県ニ隸ス、此府ハ米因河ノ下

流ニヨリ、日耳曼ノ中心ニ位シ、貿易ノ要衝ナレハ、豪富ノ商賈多ク、殊ニ猶太ノ族多ク、蓄財最モ富ムト云、其市街ハ、久シキ名都ナレハ、古時ノ規制ニヨリテ、街路狭隘ニテ、不規則ナリ、古キ屋造多クシテ、皎美ナラサレトモ、中間ニ大路ヲ通シ、四圍ニハ星形状ノ土壁ヲ匝シ、狭長形ナル花園ヲ处处ニ修メ大路ハ塙上ヲユク、米因ノ河岸ニハ、向岸ノ平原広濶ニテ、遠巒ヲ望ミ、流水清ク、中ニ長橋ヲ架ス、風景美ナリ

## 拜焉国慕尼黑府王宮及ヒ芝居



## 同市中広達ノ景

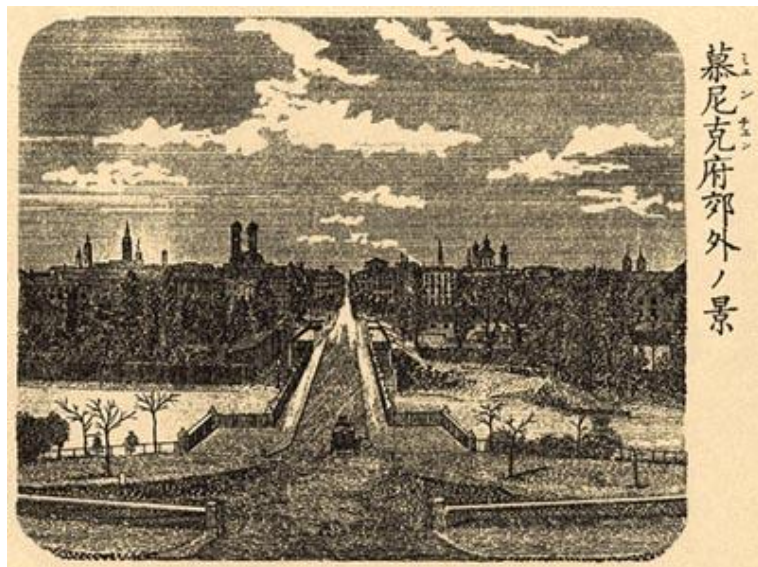


明治六年五月六日

府中ヲ回覽ス、拜焉王ノ宮殿ハ、府ノ中央ナル広街ノ衝ニアリ、「パレイ、ローヤル」ト名ク、莊麗ナル宮ナリ、築造新ニシテ粹白ナリ、先王「マキシミリヤン」ノ代ニアタリ、此宮ヲ經營シタリ、高廠ナル三層ノ殿ニテ、窓ヲ開ク恢宏ナリ、裏面ノ建築ハ旧シ、東面ニ菩提

寺、芝居アリ、門ニハ兵隊アリテ守ル、熊毛ヲ背ヨリ敬テタル帽兜ヲ冠シ、藍衣ニ銀鈕釦ヲ施ス、普魯西ノ兵ト異ナリ（今朝騎兵ノ隊ヲナシテ過ルヲミシニ是モ同装ニテアリヌ）、裏面ニ大苑ヲ抱ク、樹陰清ク、層層ニ榻ヲ列シ、酒茶ヲ売ル、是モ王宮ノ囿ヒノ内ニ属セリ、王宮モ縦覽ヲ許ストナリ

## 慕尼黑府郊外ノ景



明治六年五月六日

是ヨリ一路清麗ニテ、河岸ニ從ヒ、樹ヲ植エ、草ヲ播シテ、人ヲ行カシム、時ニ河流ノ傾注スル響ヲ聞ク、元來此府、旧部ノ街区ハ、道路狹隘、不規則ニシテ、樹木モナク、炎天ニハ健康ニ宜シカラス、故ニ新部ニ於テハ、宏恢ニ街ヲタテ、樹木ヲウエテ、爽氣ヲ流通セシメタリ、故ニ旧部ノ建築ハ、古キ屋壁多ク、只寺院ノ壮大ナルヲミル、新部ノ城ハ屋造モ宏麗ナルモノ多シ

## 同大銅像



明治六年五月六日

河ヲ渡リテ南スレハ、一ノ広野ニ至ル、高所ヲ占テ、一字ノ博物觀アリ、此ニ石像ヲ集ム、其前ノ広場ハ、以テ調練場トス、山峰右ニ環繞シ、府中ノ烟火ハ、前ニ湧ク、眺望甚タ快ナリ、此ニ一ノ大銅像ヲ立ツ、一千八百三十三年ヨリ鑄造ヲ始メテ、十年ニテ成就セリ、其長サ五十八尺、身ノ幅八尺、女神ノ立像ナリ、左手ニ草ノ籜ヲ執リテ、首上ニ挙げ、右手ニ劍ヲ執リテ、獅子ニヨリカハル、当国ノ保護神ニ象ル、是ヲ石ノ方台、高サ三十余尺ノ上ニ安立ス、其重サ八十噸、中ヲ空クシテ、石台ノ中腹ヨリ、螺旋ノ階ヲ施シテ、觀客ヲ上ラシム、因テ是ニ上レハ、守人燭火ヲ与フ、之ヲ執リテ級ヲ拾ヒ、上ルコトスヘテ六十五級ニテ、石基ヲ尽ス、又六十級ニテ、像ノ領ニ至ル、面部ノ兩側ニ、榻アリ突出ス、即チ兩齶ナリ、此ニ六人ヲ坐セシメテ余リアリ、咽喉ノ大サハ、長大ノ人モ、首ヲ屈スルニ至ラス、目睛及ヒロ孔ヨリ明ヲ引ク、此ヨリ府中ヲ一眺ス、此ニ左手ノ横ヲミル、老樹ノ横タワルカ如シ、歐洲ニテ無双ノ大像ナリ



## 以太利国「ヴェロナ」ノ古観場



## 同古城砦

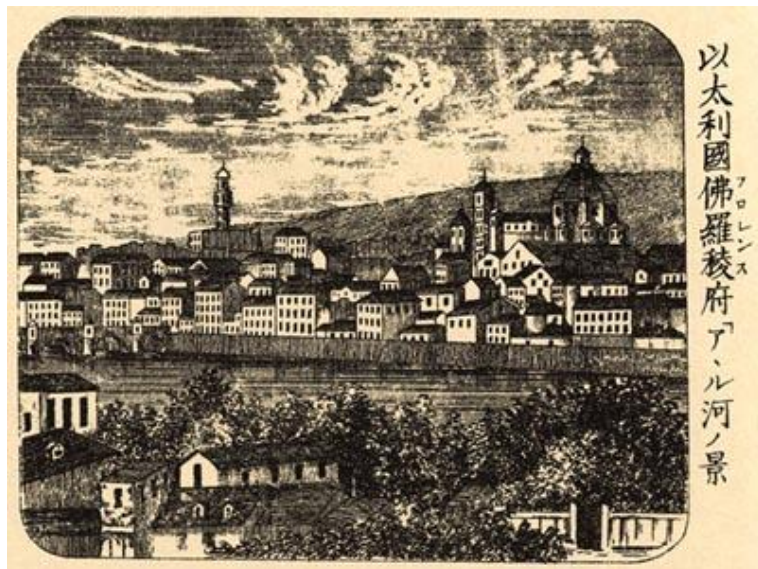


明治六年五月八日

「ヴェロナ」府ハ、以太利ノ一都会ナリ、北緯四十五度二十六分、東經十一度〇ニ位ス、人口六万二千人アリ、此府ノ郭外ナル河岸ニモ、古軍壘アリ、今モ以テ兵屯トス、前ニハ乾壕ヲ回シ、背ニハ連嶂ヲ負ヒ、其面ニ河流ヲ帯ヒ、形勝甚タ壮ナリ、府中ニハ、古昔羅

馬時代ノ建築、猶残蹟ヲ存シ、劇場ノ跡、古城ノ壁等、訪古ノ客、必ス一見ヲ要スル所トス、路ヲ急クヲ以テ、一觀ニ遑アラス、此駅ハ西境米蘭府ヨリ来ル、鐵路会合ノ所ニテ、駅舎ノ車輛、鉄軌甚タ盛ナリ、此ニテ車ヲ下リ、西来ノ車ヲ待ツ

## 以太利国仏羅稜府「アルノ」河ノ景



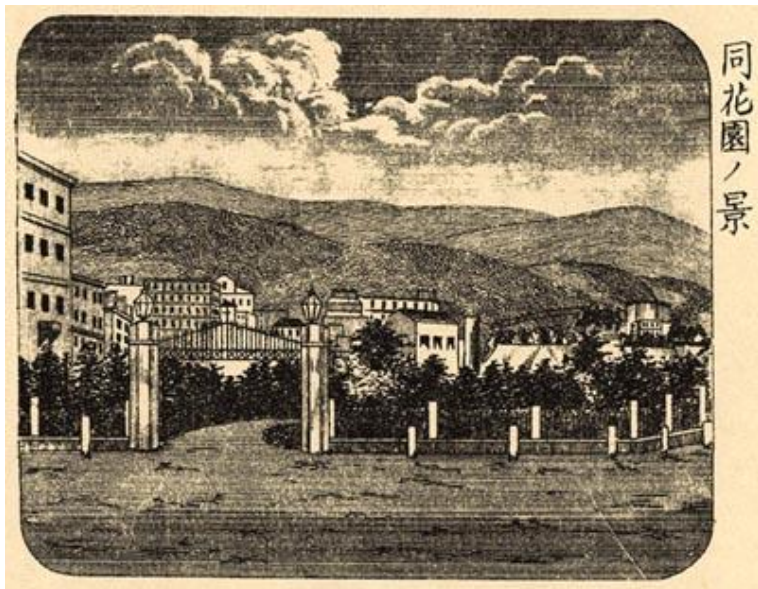
明治六年五月九日

晴

以太利政府ヨリ、元日本在留公使「カウント」〈爵名〉「ヘートスチェンニー」氏ヲ接伴掛トシテ、此ニ出迎ヘ款接ヲナス、

仏羅稜府ハ、元、多加納上公国ノ首府ナリシニ、一千八百五十八年ヨリ、「サルヂニヤ」国王、民権保護ノ兵ヲ再挙シ、墮国ノ兵ヲ破リシトキ、国民ミナ国公ヲ追テ、服属セリ、因テ此府ヲ以テ王都トナシ、去ル一千八百七十年ニ至レリ、其地北緯四十三度四十六分、東経十一度十七分ニ位シ、去年ノ統計ニ、人口十六万七千〇九十三人アリ、其繁華ハ、以太利国第六ニオレトモ、都府ノ美麗ニシテ、風景ニ富メルコトハ、米蘭府ニモ超越スルヘシ、「アルノ」河ノ清流アリテ転回シ、府ノ中腹ヲ流レ、連麓ハ岡陵ニ上リ、谿谷ハ埋メテ、烟火ヲ集メ、峰巒四ニ環リ、谷中広ク、水清ク流疾シ、時ニ斜湍ヲ作リテ水勢ヲトム、瀉瀉淙淙トシテ声アリ、我行ノ宿セル「ホテル」ハ、正ニ其斜湍ノ側ニアリ、終夜ニ松籟ノ音ヲ聞キ、日夕耳ニ清シ、河上ニハ五橋ヲ架シ、飛閣傑楼、処々ニ起リ、山上ニハ古城古砦アリ、雲麓ノ間ヨリハ、大寺ノ兀然トシテ抽ツルアリ、小寺ノ矗トシテ堂尖ヲ出スアリ、府中ニスヘテ二百五十ヶ寺アリト云、羅馬「カドレイキ」教会ハ、多ク寺刹ヲ建テ、荘嚴ヲ極ム、其淫工ハ驚詫スルニモ余リアリ、府ノ周圍ニハ、壘壁ヲ匝ラシ、八門ヲ開キテ防衛ヲナセリ

# 同花園ノ景



## 羅馬府ノ「サンアンケロ」城及ヒ「ダイバル」河橋



明治六年五月十二日

「サンアンケロ」ノ古城ハ、聖彼得寺ノ東、相距ル六百五十「ヤールド」ノ地ニアリ、  
「ダイバル」河ノ北ニ兀立ス、此地ハ、西南ヨリ北ニ連リテ、岡坡ヲ起ス、「ダイバル」  
河ハ、其岡ノ北岬ヨリ曲折シ、南岬ニ向ヒ、流レ去ル、之ヲ名ケテ「モルシヤ」谷ト云、  
河ノ南東ハ、一望曠然タル野ニテ、五六英里ヲ隔テ、山嶺ヲ起ス、全府ノ雲薈ハ其中ニア  
リ、北西モ亦遙ニ雪峰ノ層層タルヲミル、古時ニ此城ト河トノ間ニ、往還ノ大路アリ、紀  
元前三百十二年「コロチユース」ノ時代ニ、始メテ此ニ城ヲ築キ起シタレトモ、其時ニハ  
規模尚小ナリシニ、其後之ヲ盛ンニ築キシハ、「パドリニシ」帝ノ時ヨリ始マリテ、「アテ  
ニョス、ヒヨス」帝ヲ経テ、紀元百四十年ニ落成セリ、城ノ区域ハ、幅二千五百六十尺、  
入り五百四十五尺アリ、外圍ニハ星形ノ堡ヲ築キテ、中ニ円壁ノ高城ヲ起ス、ミナ磚瓦ヲ  
タハミテ成ル、高サ十四五丈ニ及フベシ、上層ニハ広台アリ、此ニ神女ノ翼ヲ張リタル像  
ヲ安置セリ

## 聖彼得寺及ヒ「ワチガン」宮 〈「キリシタン」教ノ本山〉



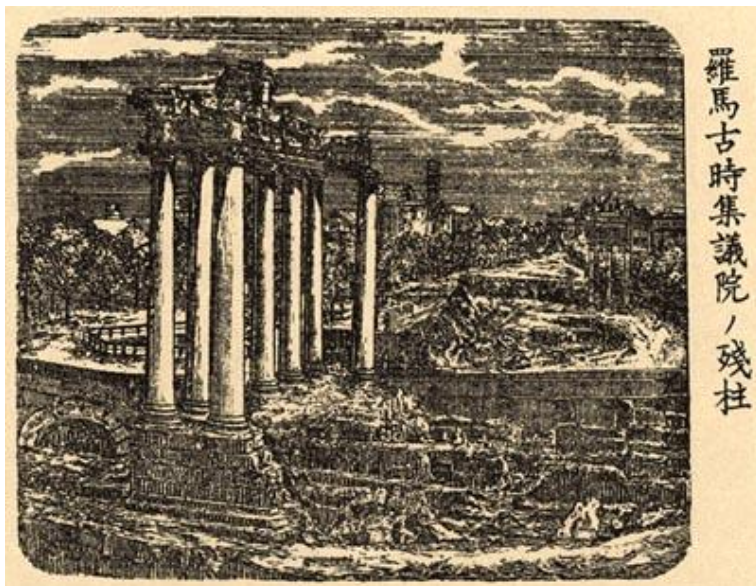
明治六年五月十二日

晴氣候温和

午後ヨリ駕シテ、府中ノ名勝古蹟ヲ回覽ス、

聖彼得寺ハ、羅馬教皇ノ居城ニ附属セル寺ニテ、即チ羅馬「カトレイキ」教ノ本山ナリ、府ノ西ナル岡麓ニアリ、東ヲ正面トシ、左右ヨリ白石ノ円柱ヲ以テ、高廊ヲ半円規ニマワシテ、前ニ濶大ナル甃庭ヲ擁ス、其広庭ノ地形ハ、漸漸ニ隆高シ、左右ニ跳水ノ池アリ、中ニ尖錐ノ高方塔アリ、廊ノ檐上ニハ、石像ヲ羅立ス、規模甚タ宏美ナリ

## 羅馬古時集議院ノ残柱



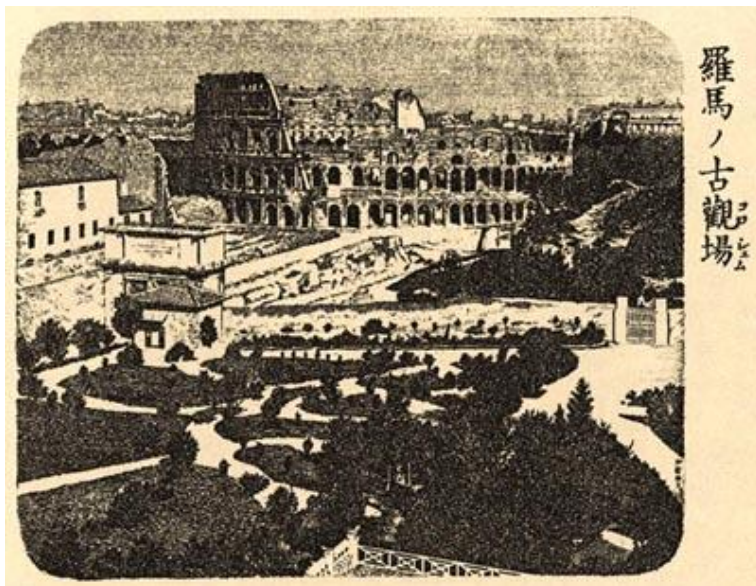
明治六年五月十二日

羅馬ノ時代ニ築キシ、集議院ノ遺礎ハ、府ノ南ニアリ、当時此所ハ、城ノ内部ニカハル、古時ハ此院ニ、羅馬ノ人民集会セシコトハ、紀元前三十年ヨリ、紀元四百七十六年ニ至ル、該撒ノ暗殺サレシハ、此院中ニ於テセリ、其後廢頽シ、今ハ只遺礎残柱ノ存スルノミ、総テ此辺ノ地形ハ、其頃ヨリ今日ニ至ルマテ、一般ニ隆起セルコトハ、二十六尺ニ及フ、故ニ古代ノ遺礎ハ、地下ニ陥リテ、殆ト十尺ノ下ニアリ、此他ニモ当時ノ遺屋ノ存セルモノ、ミナ地下ニ陥入セサルハナシ





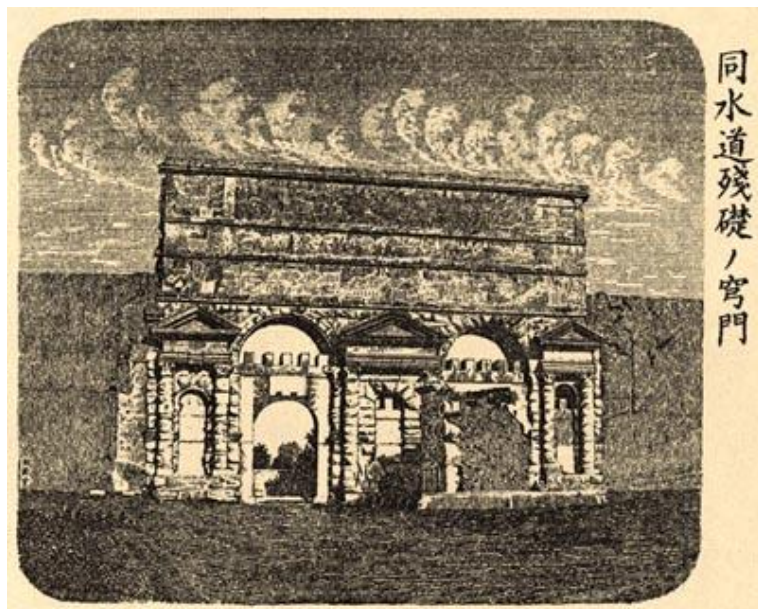
## 羅馬ノ古觀場



明治六年五月十二日

格獸觀ハ（即チ「コロシヨム」一名ハ「アンフシエター」トモ云）、紀元ノ頃ニ羅馬ノ「ウェスハレエン」帝、猶太國ヲ征服シ、凱旋ノ後ニ、此觀ヲ造營シ、嗣帝「タイトス」ノトキ、紀元八十年ニ成就セリ、此觀ハ楕圓規ノ屋壁ヲ匝ス、ミナ煉瓦石ニテ築キ起シ、スヘテ五層ナリ、中央ニハ空庭ヲ囲ミ、層層ノ樓ハ、ミナ庭ニ面テ窓ヲ開キ、觀台トナス、最上ノ層ヲ露台ニシ、地平ヲ抜クコト百七十九尺、是ヨリ底ヲ望メハ目ヲ暈セントス、全觀ノ広サハ、長徑五百八十四尺、短徑四百六十八尺ノ、楕圓規ヲナス、中庭ノ長徑ハ、二百七十八尺アリ、然則觀台ノ基ハ、幅百五十三尺ノ周匝セルモノト知ルヘシ、如此キ大觀台ニ、古時ハ莊麗ヲ極メシモ、千余百年ヲ経テ、周圍完存スレトモ、其上層ヨリ内景ノ大半ハ、頽レテ全カラス、只其北部八分ノ一ヲ儼存スルヲ以テ、其全局ヲ想像スルニ足ル、其他或ハ後年ニ補ヒテ、頽毀ヲ支ヘタル所モアリ、其外面ハ花蕊石ニテ包ミタリシ、後世ニ王宮ノ造營ニ（法王宮及ヒ彼得寺カ）用ヒテ、皮ヲサリ只骨ヲ存セルノミ

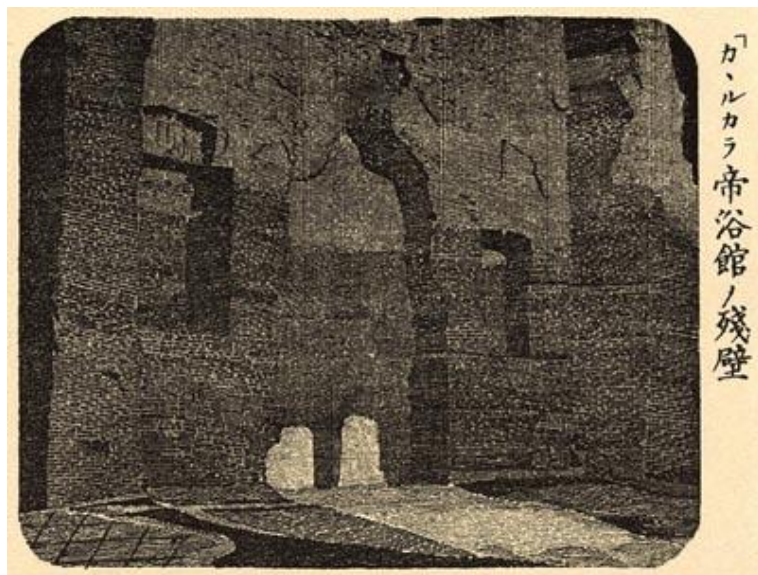
## 同水道残礎ノ穹門



明治六年五月十六日

羅馬水道ノ残礎ハ、城壘ヨリ陸続トシテ、東南ノ原野ヲ互リテ、遙ニ「アヘニエン」山ニ達ス、彼山中ヨリ清水ヲ引テ、七十四以里ノ山原ヘ、直線ニ磚壁ヲ築キ、水ヲシテ壁上ヲ流レテ、城中ニ入ラシム、其壁ノ最モ高キハ、十余丈ニモ及フアリ、彎弧法ノ門ヲ開キテ道路ヲ通ス、高壁ニハ彎弧法ニテ、兩層三層ノ柱礎ヲ疊ミ、原野ヲ綿互シ、其遺壁今ニ断続ト存セリ、当時ノ人ハ、水ニ上圧ノ性アリ、之ヲ道キテ、中間ニ漏佚ノロサヘナケレハ、其流末ハ常ニ源ト平カナルノ理ヲ知ラス、以謂ク源頭ノ水、僅ニ低処ニ就カハ、復上ラサラントテ、此長橋壁ヲ作りテ、其上ニ穴シテ、城内ニ一直線ニ流レ来ラシメタリト

## 「カルカラ」帝浴館ノ残壁

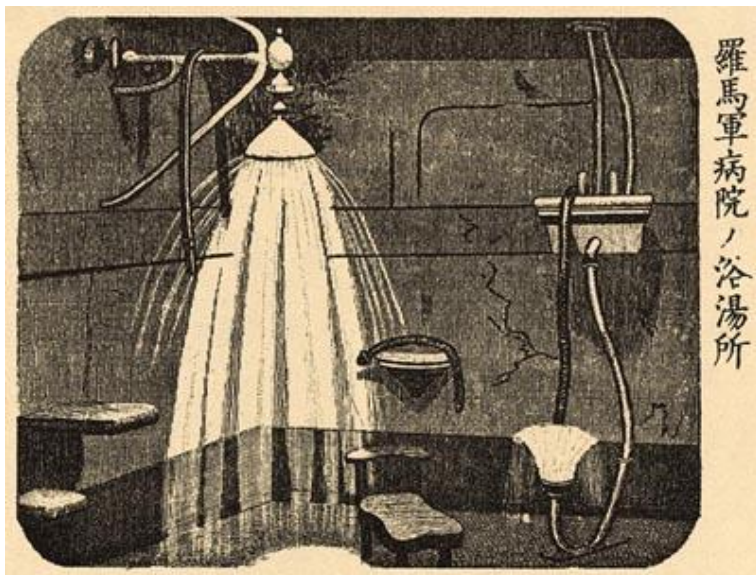


明治六年五月十五日

浴湯館ノ残壁ハ、「コロシヨム」ニ垂スル大造営ノ趾ナリ、全館ノ積、一万四千方「ヤールド」アリ、此ニ紀元前二十五年頃ヨリ、浴湯館アリタルヲ、紀元二百十二年ニ、「カルカラ」帝増修シテ、此造営ヲナセリ、此頃ニ羅馬ノ人、此ニ集浴シ、浴後ニ広堂ニ会シ、遊戯会合ヲナシタリ、「コロシヨム」ニテ獸ヲ格シ、其勇ヲ著シタルモノハ、羅馬帝ヨリ別段ノ接遇ニテ、入浴ノ後ニ、広堂ニ席ヲ進メ、殊遇ヲ蒙リ、衆ニ顕榮セラルコトナトアリタリキ、是ヲ以テカハル大ナル造築ハナシタルナリ、

浴池ノ大サ、約四丈ニ八丈許ナルモノ、三四箇アリ、ミナ猶儼存ス、男女ニ池ヲ分ツ、スヘテ一千六百人ヲ浴セシムルニ足レリ、四周ニ広堂アリテ、遊息所トナス、全地ミナ象嵌法ニテ石ヲ整ス、其現存セルモノ尚多シ、現ニ人夫ヲ起シテ、其欠裂ヲ補綴シ、垂久ヲ謀レリ、此館ニ残ル一柱ノ大サ、方一丈ニ及フ、壁ノ厚サ之ニ準ス、ミナ磚瓦石灰ヲ以テ疊ミ成ス、其高サハ知り難ケレトモ、往々十丈ニ及フモノアリ、上ニ荒草ヲ生セリ、宛トシテ阜岡ノ仄立セルカ如シ、館ノ景状モ、彷彿トシテ存セルノミ、元ハ是モ大理ノ石ニテ外ヲ包ミタレトモ、今ハ剥キ取リテ、其内壁ノミ存ス、処処ニ其石ノ欠裂及ヒ石像ナトノ存スルアリ

## 羅馬軍病院ノ浴湯所

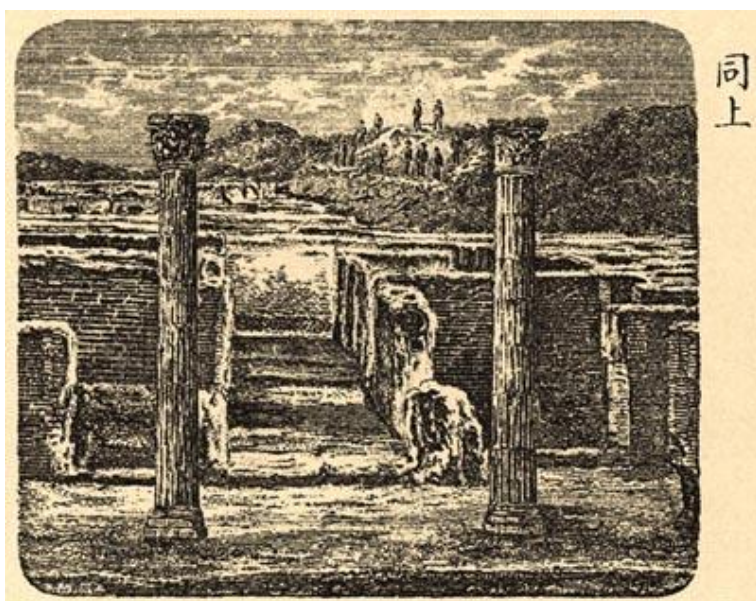


明治六年五月十五日

軍病院ニ至ル、スヘテ七十室ヲ分ツ寢床三百五十ヲ具ス、現ニ入院ノ病人百五十人アリ、  
医師十一人ヲ配ス、看病人ニハ「ノン」アリ、

此院ニテ記スヘキハ、浴室ノ設ケナリ、尋常ノ浴盤モ多ケレトモ、其内ノ一室ニ、種種  
湯ノ療治湯ヲナス仕掛アリ、中央ニ榻アリ、病人ヲ踞セシメ、一線ヲ引ケハ、湯ハ蓮窩ノ  
如キ孔ヨリ噴撒ス、又一線ヲ引ケハ、傍ニ榻ヲ囲ミタル数条ノ管ヨリ、縦横ニ湯ヲ噴撒  
ス、或ハ肩ニ噴注シ、或ハ耳ニ沃注スルアリ、或ハ目ヲ洒洗スルアリ、如此キ仕掛ハ、各  
国ニテ未タ見サリキ

## 羅馬ニ掘出セル該撒帝ノ宮



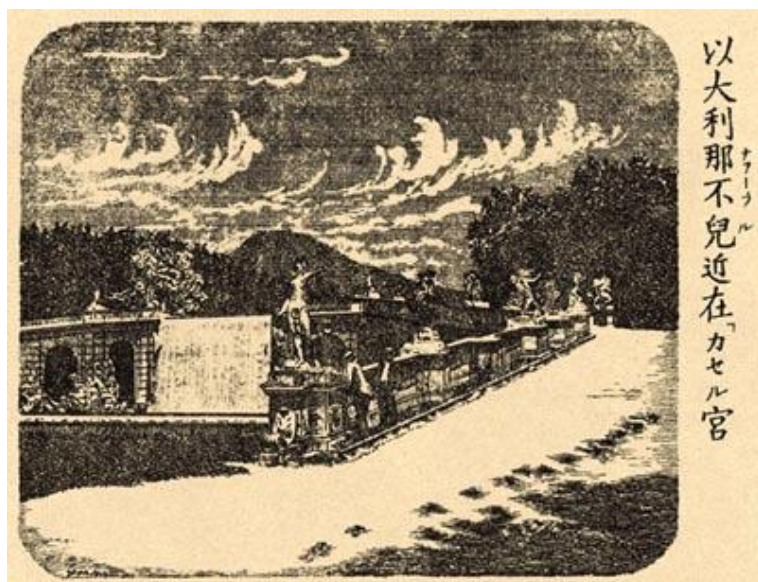
明治六年五月十六日

該撒帝ノ宮ハ、集議院ノ遺礎ノ南ナル、岡上ノ平地ヲ削リテ、全城ニ建築セルモノニテ、其屋壁斷続トシテ、猶存スルモノアリ、又地ヲ掘リテ出セルモアリ、高楼アリ、深窖アリ、古井六十尺ノ底ヨリ、古銅器、玉器、磁器ヲ、無数撈シ出セルアリ、或ハ上宇廢シ

テ、下宇ノミ存スル所アリ、又上棟下宇、ミナ完ク屋壁ノ絵画依然トシテ存スルアリ、尤モ珍重スヘシ、遊人多ク其絵ヲ摸写シテ帰ル、

該撤ノ納涼宮ハ久シク土中ニ埋没シタリシニ、仏帝拿破侖第三世、此宮ヲ二十五万「フランク」ニ買取テ、人夫ヲイレテ掘ラセシニ、其屋壁儼然トシテ露出セリ、其費ニ又百万「フランク」ヲ耗セリ、往年拿破侖ノ敗レシ後ニ、六十五万「フランク」ヲ以テ、以太利政府ニ売渡シ、仍テ今ニ至ルマテ猶人ヲイレテ之ヲ発掘セリ

## 以太利那不兒近在「カセル」宮

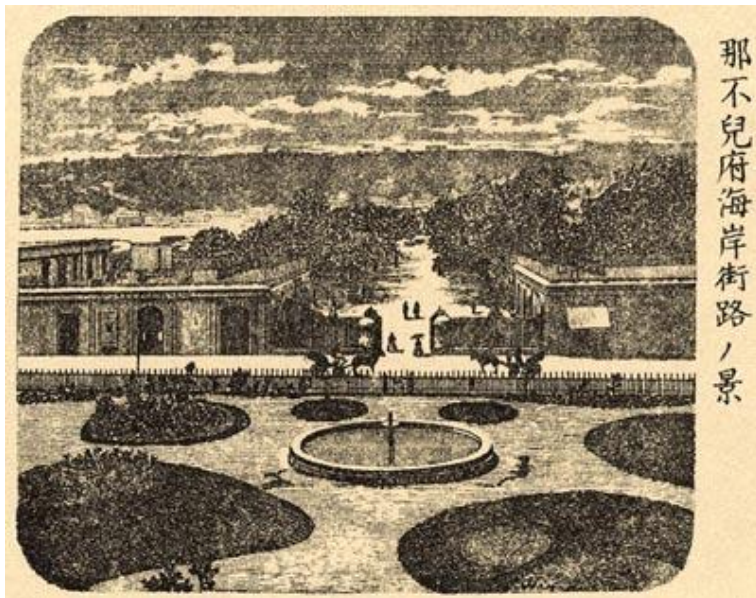


明治六年五月二十日

陰夕ニ雨

朝五時ニ「カセル」邑ニ著ス、此ハ那不兒府ニ至ラサル、二十英里ノ地ニテ、皇帝ノ別宮アリ、蓋元ハ那不兒王ノ築造セル宮ナラン、此日ハ皇帝ヨリノ特旨ニテ、接伴掛、及ヒ宮内ノ官員ヲシテ、此宮ニ遊覽セシム、因テ此駅ヨリ車ヲ下レハ、守宮ノ官員ヨリ、馬車ヲ以テ迎へ、馳セテ駅傍ノ一直路ヲ行ケハ、王宮ハ其衝当ニアリ、即チ各名ニ室房ヲ与へ、洗嗽ヲ辨セシメ、此ニテ茶ヲ喫シ、馬車ニ上リテ、宮苑ノ内ヲ回覽ス

## 那不兒府海岸街路ノ景

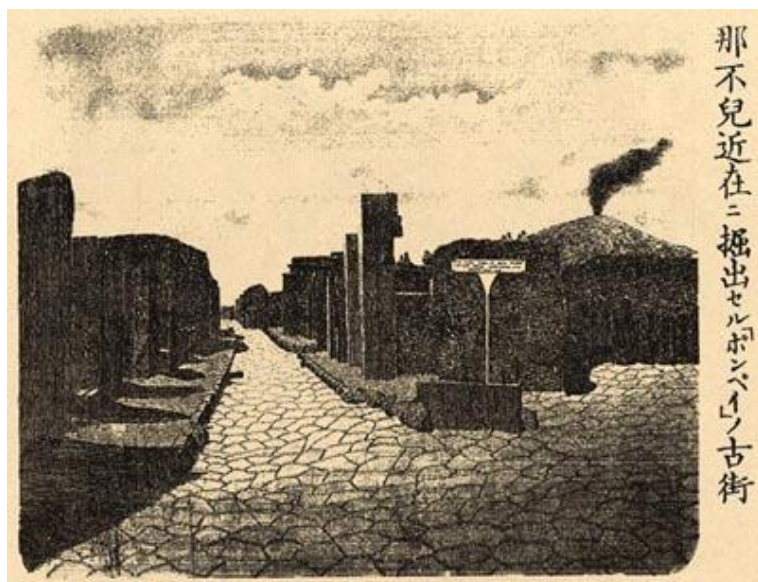


明治六年五月二十日

駅ニテ馬車ニ上リ、二十分時間行ヲ費シテ、「ホテル、デ、アングリテー」ニ宿ヲナス、  
「ホテル」ノ前ハ地中海ニ面シ、碧波渺渺トシテ天ヲ極シ、海岸ニーノ直街ヲ開キ、浜ニ  
ソフテ余地ヲ存シテ長苑トナシ、緑樹ヲウユ、清爽ニテ盤遊ニ宜シ、府中ニテ景勝ノ地ナ  
リ、海浜ニハ漁人舟ヲ出シテ魚ヲ網ス、魚鮮ニシテ腴美ナリ、此ニテ紅鬣魚ヲ宰ス、日本  
ヲ発スルノ後ニ、此魚ヲ食シタルハ、唯此国アルノミ、歐洲ノ俗、一般ニ肉食行ハレ諸畜  
ノ肉ハ、常茶飯ニ比スヘシ、反テ魚肉ヲ重ンス、魚肉ノ価ハ、反テ獣肉ニ倍ス、英、仏、  
獨逸等ニテ宰スル魚ハ、多クハ比目魚、鱈、鮭ニテ、甚キハ塩蔵鮭ヲ食セシメルニ至ル、  
曾テ紅鬣ノ美ヲ食セシコトアルナシ、接伴掛「カウントヘー」氏、我邦人ノ紅鬣ヲ賞スル  
ヲ以テ、故ニ此ヲ宰セシメタリ、米歐各国ミナ此魚ヲ宰セス、水族觀ニモ此魚ヲ養フタル  
ヲ見ス、是其希少ナルニヨルナラン



## 那不兒近在ニ掘出セル「ポンペイ」ノ古街



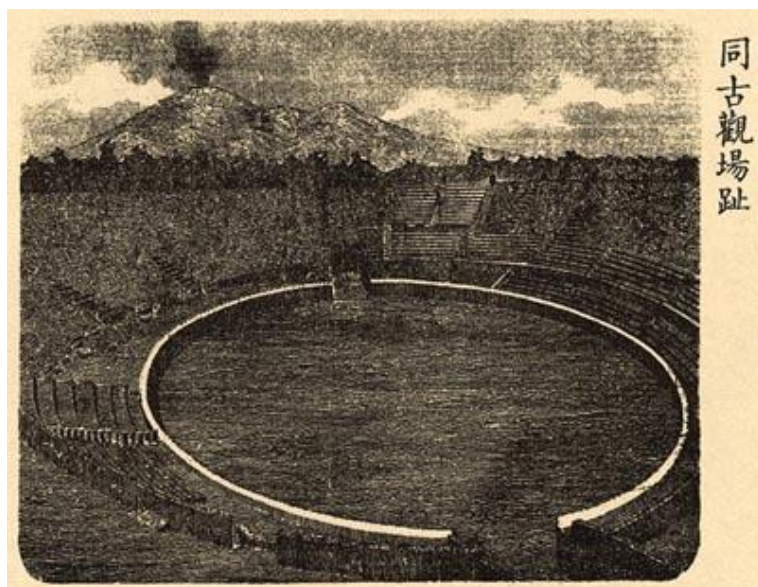
明治六年五月二十一日

其二ハ「ポンペイ」村ニ於テ、紀元ノ初メ、地ニ埋没セシ都府ヲ、掘出シタル奇跡ナリ、是ハ明日ノ条ニ詳記スヘシ、

此奇異ノ発見ニヨリ、其地ヨリ獲シ古物ヲ集メテ、他ノ古物ト共ニ陳列シ、一ノ大博物觀ヲ当府中ニ設ク、亦諸国ニ名高ク珍重セラレテ、游客跡ヲ接スト云、

此日ノ朝ハ、駕シテ博物館ニ至ル、館ノ造構ハ、白石ヲ以テ築キタル、高朗ナル三層ノ宇ニシテ、彩画、彫鐫、共ニ精ヲキハム、館内ニ充タル、古キ器物、図画、名像甚タ多シ、其中ニ「ポンペイ」ノ地底ヨリ出タル、紀元五十年ノ都府ニ、現存セシ嵌石ノ細工、屋壁ニ存セシ、藻繪、及ヒ人物、或ハ当時宮室ノ様ヲ写シタル画図、或ハ当時ニ用ヒタル家什器件ヲ陳列ス、此館ニ入レハ、一千八百年前ノ世ニ生レシ心地ヲナサシム、又其時ノ焼キ残り反故紙アリ、又灰燼シ炭トナリテ存セシ文字アリ、銅鐫ノ希臘文字、又埃及ノ古物、其多キコト幾室ナルヲ知ラス、四方ノ遊客、ミナ日日就テ臨写ス、実ニ希代ノ珍藏ナリ

## 同古觀場趾



明治六年五月二十一日

此府中モ古蹟多シ、海湾ニ斗出セル一島ニ、岩壁ノ古城アリ、又南方ニアタリ、岡阜ヲ削シテ、岩洞ヲ開キタルアリ、其高サ二丈余、長サハ十余町ニ及フベシ、兩壁ニ燈ヲ点シテ闇ヲ照ス、車馬往来スヘシ、是モ亦上古ニ鑿開セルモノナリ、別ニ「コロシユム」ニ似タル觀場ノ基礎モアリト、逗留日少ク、一々ニ探ルニ違アラス、

南方ノ山上ニ一宮アリ、仏將某ノ築キタルモノニテ、頗ル宏壯ナリ、庭苑尤モ広ク、海湾ノ眺メ甚タ快シ、諸禽ヲ養ヒテ艸中ニ劇ル

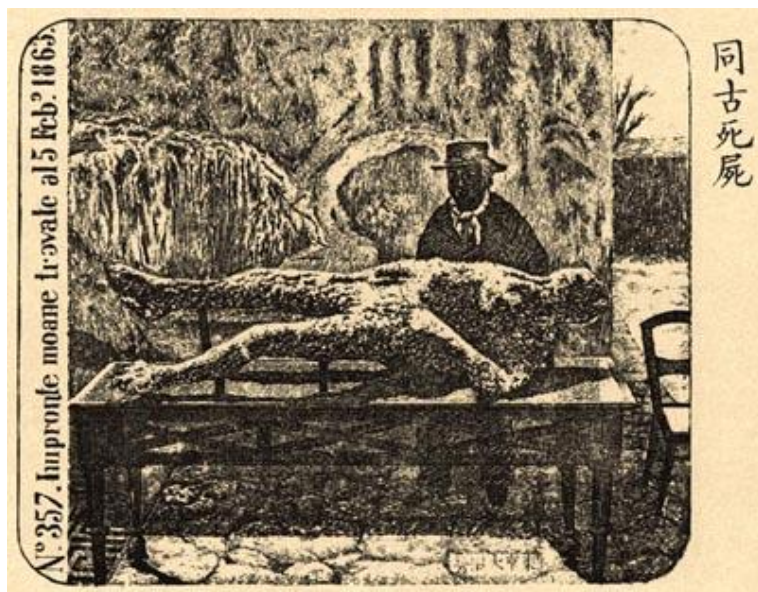
## 「ポンペイ」ニ掘出セル古画



明治六年五月二十二日

博学ノ士、古史ヲ照シ、城邑ノ古図ヲ得テ、此街屋ニ就テ、此処ハ銀行ノ跡ナリ、此ハ裁判所ノ跡ナリ、此ハ学校ナリト、多分考証ニ就ク、浴湯店アリ、其規模小ナラス、一区ニハ花街アリ、小室ヲ区分シテ、ミナ土床アリ、枕辺ヲ凸ニス、戸ノ上頭ニ画ヲ存セルアリ、多ク淫褻ノ図ナリ、大ナル楼ニハ会堂アリ、春画ヲ画ク甚タ完シ、画様今ト異ナラス、花街ノ内ニ、大ナル釜ヲスヘ、石盤ヲオキタルアリ、コレハ石鹼ノ製造所ナリト云

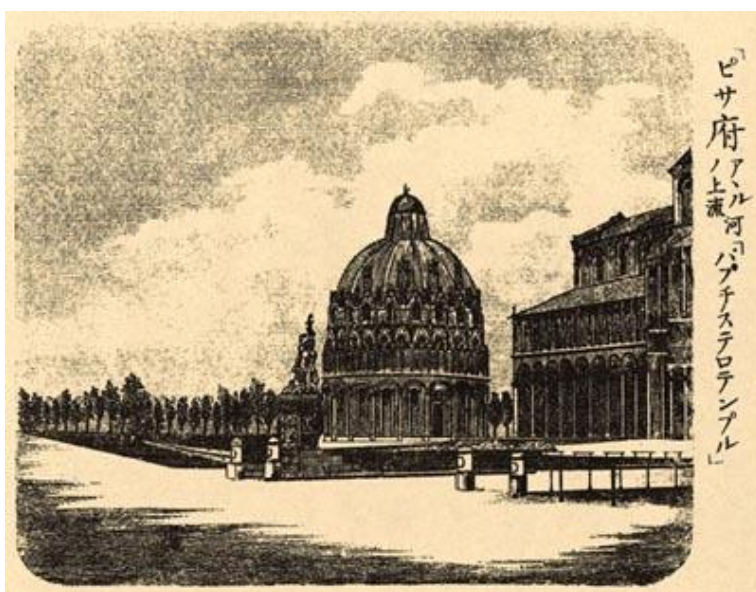
## 同古死屍



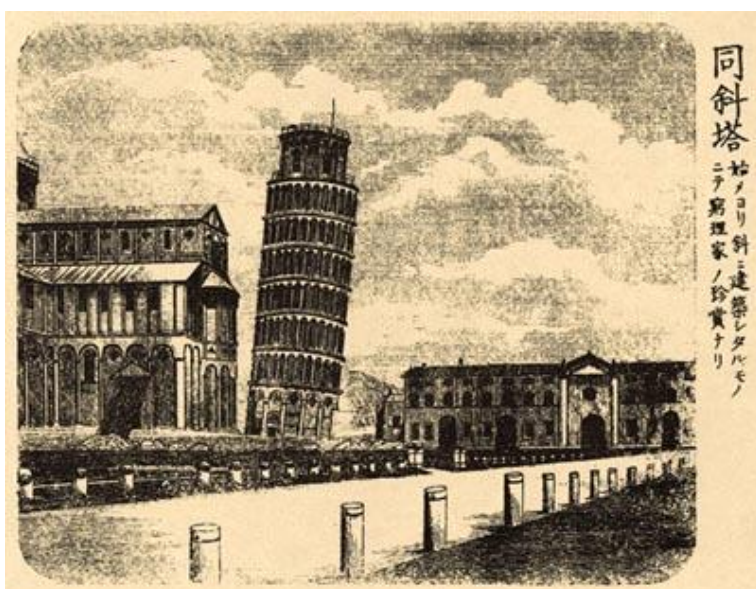
明治六年五月二十二日

「ポンペイ」ノ古跡ニ至ルニハ、該村ヨリ一岡ヲ上レハ、関門アリ、門ヲ入レハ、側ニ一宇ノ博物觀アリ、地底ヨリ得タル古物ヲ蓄フ、灰土ノ内ニ斃レシ死屍ヲ、其儘ニテ、灰ヲ併セ収メテ、台ニ上セタルモノ兩三アリ、一ハ丈夫ノ屍ニテ仰キ臥ス、一ハ婦人ノ形ニテ伏シタリ、其後ニ其娘ト覺ヘテ巾ヲ以テ目ヲ掩フタル形ニテ死セリ、或云泣伏シタルナリ、或ハ云飛灰ヲ掩フタルナリ、指ニハ金環ヲ貫ク、一視シテ憫然ナリ

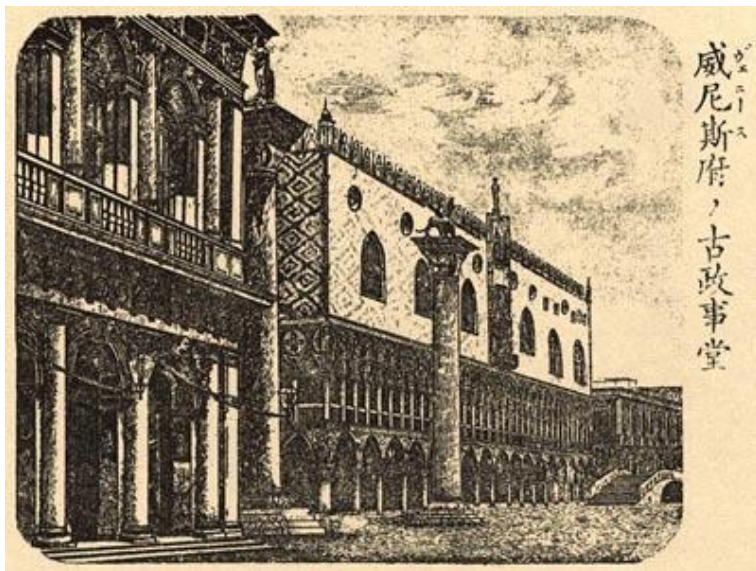
「ピサ」府〈「アルノ」河ノ上流〉「バプチステロテ  
ンプル」



同斜塔〈始メヨリ斜ニ建築シタルモノニテ窮理家ノ  
珍賞ナリ〉



## 威尼斯府ノ古政事堂



明治六年五月二十八日

晴氣候甚タ清シ

「午後ヨリ当府元合衆政治堂ニ至ル、此地ニ合衆ノ政治ヲナシテ、東南交易ノ權利ヲ占メタルコトハ、紀元三百年ノ頃ヨリ起リテ、一千八百年ノ頃ニ至ルマテ、連綿タリ、全部中ヨリ十一人ノ統領ヲ推挙シ、其中ヨリ一人ヲ推シテ大統領トナス、事ヲ決スルトキハ、皆黒巾ヲ冒シテ衆ニ対ス、故ニ何人ノ大統領タルヤハ、十一人ノ外ハ別ニ之ヲ知ルモノナシ、以テ市中ノ政ヲナス、唯罪人ニ死刑ヲ申渡ストキニ、其黒巾ヲ脱シテ申告シ、即チ獄ニ帰ル道ニテ、命ハ已ニ隕ツ、カハル仕組ニテ、他ヨリ此府ヲ押奪セントスルモ、之ヲ抜クノ要領ヲ得ス、以テ其独立ヲ全クセリキ、

一千八百年ノ頃ニ、拿破侖第一世、此府ヲ抜キテ、地中海ノ要枢ヲ扼セント志セトモ、大統領ノ何人ナルヲ知り難シ、因テノ大将ヲシテ、死刑ヲ犯シテ此堂ノ獄ニ囚ヘラレシメ、両造具備ノ後、死刑ヲ申渡スノ期ニ臨ミ、大統領黒巾ヲ去リケレハ、仏將其面ヲ熟視シ、即チ懐中ヨリ仏国ノ旗ヲ出シ示ス、一座色然トシテ獄事ヲヤム、仏將即チ大統領ノ色相ヲ拿破侖ニ復告ス、因テ大統領ヲ執ヘテ此府ヲ抜キ、是ヨリシテ当府ノ独立政治ハ廢シタリ、此堂中ニ歴代大統領ノ画像ヲ掲ケ、拿破侖ヨリ執ヘラレタル人ニ至リテ止ム、

此堂ノ建築、其結構偉麗ニテ、甚タ宏壯ナリ、スベテ三層楼ニテ中ニ広庭ヲ抱キ、庭ミナ甃石ヲナシ、堂ノ内景ハ、画繪綺縟ニテ高名ナル建築ナリ、其下層ニハ牢獄アリ、傍ナル

運河ヲ跨リ、橋ヲ以テ廊トナシ、相接連ス、獄中ニ入ルニ暗黒ニテ、四壁ミナ牢固、今ハ  
廢シテ用ヒス



同側面並ニ「サンマリコ」寺鐘樓



威尼西「サンマリコ」寺前広達



## 同寺ノ内景



明治六年五月二十八日

「サンマリコ」寺ハ、府中ニテ第一ノ大寺ニテ、合衆政事堂ノ傍ニアリ、一千百年ノ頃ヨリ營起シ、七百万弗ヲ費シテ成ル、今ニ至ルマテ未タ完成ニ至ラス、堂内ミナ大理石ヲ以テ柱トシ壁トシ、其上宇ハ金色ノ玻璃ヲ以テ、嵌鏤シテ画繪ヲナス、古キ銅戸アリ、彫刻甚タ精ナリ、寺ノ前ニ建タル鐘楼ハ、高サ百「メートル」ニテ、方形ニ疊ミ起シ、中ニ傾斜ノ階ヲ施シ、三十七面ニテ鐘下ニ達ス、此日快晴ニテ、此楼上ニ登リテ臨眺セシニ、

「アトリアチック」海「アルプス」ノ山ニ環セラレ、当府ノ衆島ヲ水波ノ中ニ浮ミ出ス、景色甚タ佳ナリ、

寺ノ前ニハ、広キ区域ヲ存シ、傑閣其三面ヲ囲ミテ、人路ハ椽宇ノ下ヲ行カシメ、百貨ノ市店ヲ列ス、当府中ハ、ミナ舟ヲ以テ車ニカエ、島上ノ道路ハ、僅ニ人ヲ往来セシメルニ足ル、故ニ狭巷多ク、往往ニ兩人駢行スヘカラサルニ至ル、ミナ磬石ヲナシタレトモ、我東京ノ路次内ニ彷彿タレハ、市店ヲ開ケル所モ希少ナリ、唯此「サンマリコ」寺前ノ広域ハ、府中第一ノ繁華場ニテ、諸貨ミナ備ル、広域ノ全面、ミナ石ヲ磬ス、此府ニ車ナシ、車輪喧囂ノ声ヲキカス、常ニ男女相携ヘテ、市塵ノ前ヲ彷徨逍遙ス、夜ハ瓦斯燈ヲ焼キテ、白日ノ如ク、子夜ニ至ル、愉快ノ樂境ナリ

## 威尼斯府ノ運河



明治六年五月二十七日

「ヴェネシヤ」府ハ我日本ニテ「ベネチヤ」トイヒシハ、即チ此府ノコトニテ、英ニテハ「ヴェニシ」ト云、以太利東北ノ海ロナル都会ニテ、「アトリアチック」海ニ浜セル、斗出ノ島ヲ聚メテナル、島中ニ大運河ヲ回ス、巴字ノ如シ、是ヨリ大小ノ運河ヲ引キ、縦横ニ交錯シ、附近ノ小島ニ連綴シー府トナス、雄楼傑閣、島ヲ埋メテ建ツ、河ヲ以テ路ニカエ、艇ヲ以テ車馬ニカユ、歐洲ノ諸都府中ニ於テ、別機軸ノ景象ヲナセル、一奇郷ナリ、名ツケテ衆島府トイフ、此都府ハ、歐洲ニテ古キ貿易場ニテ、紀元三百年ノ頃ヨリ繁盛ヲナシ、附近ノ土地ヲ占メテ、合衆政治ヲナシ、独立ノ一國タリ、歐洲東方ヨリ、小亜細亞、阿刺伯、及ヒ印度トノ交易ハ、地中海ヲ運シ、此ニ聚メテ欧地ニ散ス、貿易ノ權ヲ総ヘ、繁盛ヲキワムルコト一千年ナリシニ、葡萄牙人始メテ亜弗利加ノ航路ヲ開キ、喜望峰ヲ回り、印度、阿刺伯ヘノ交易ヲセシヨリ、此府ノ生理頓ニ衰ヘタリ、然レトモ猶地中海ノ樞ヲ占メテ、利ヲ東方ニ擅ニセリ、是我邦ニ早ク「ベネチヤ」國ヲ知リシ所以ナリ

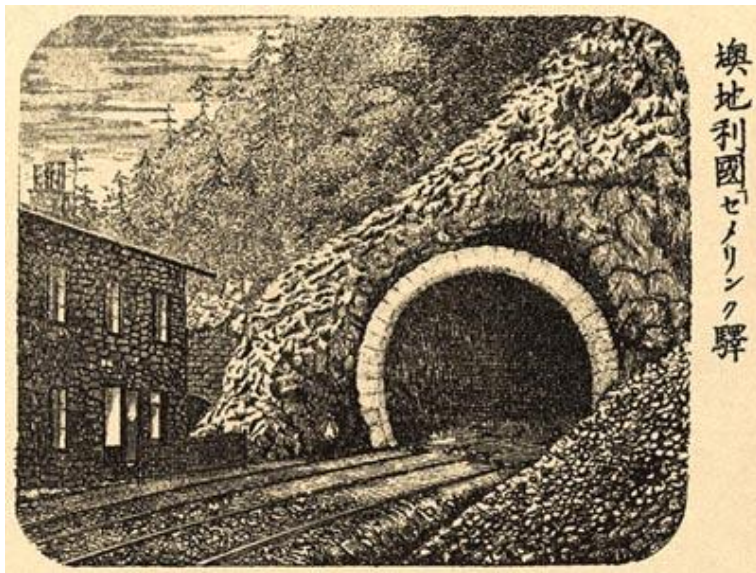
同「サンタマリヤ」寺〈新約克「ホテル」ノ前〉



明治六年五月二十九日

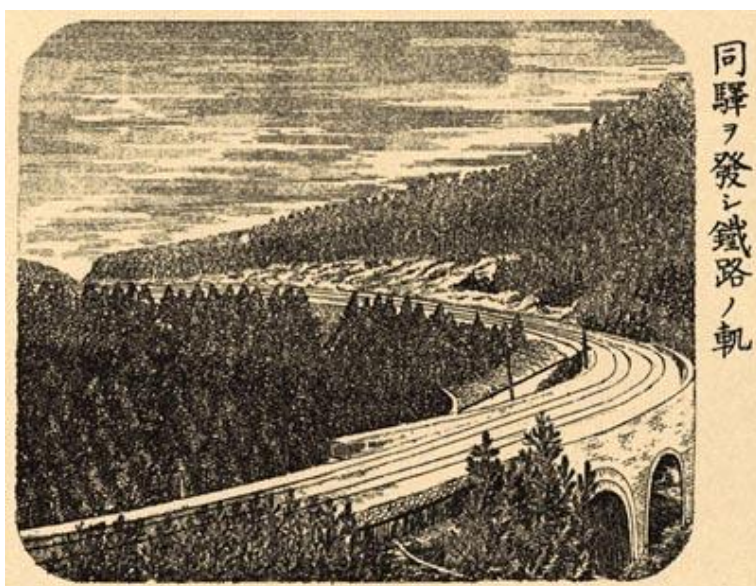
夫ヨリ「サンタマリヤ」寺ニ至ル、旅館ノ前ニアル一大寺ナリ、此寺廊ノ壁ニ、日本使臣ノ記念石ヲ掲ケタリ、其文ハ、蓋シ各使臣ノ名字、及ヒ年記ヲ白石ノ板ニ彫シ、廊壁ニ嵌ス、一千六百三十年ト記セリ、其他此ニ列国ノ使臣ノ記念石甚タ多シ

## 奥地利国「セメリンク」駅



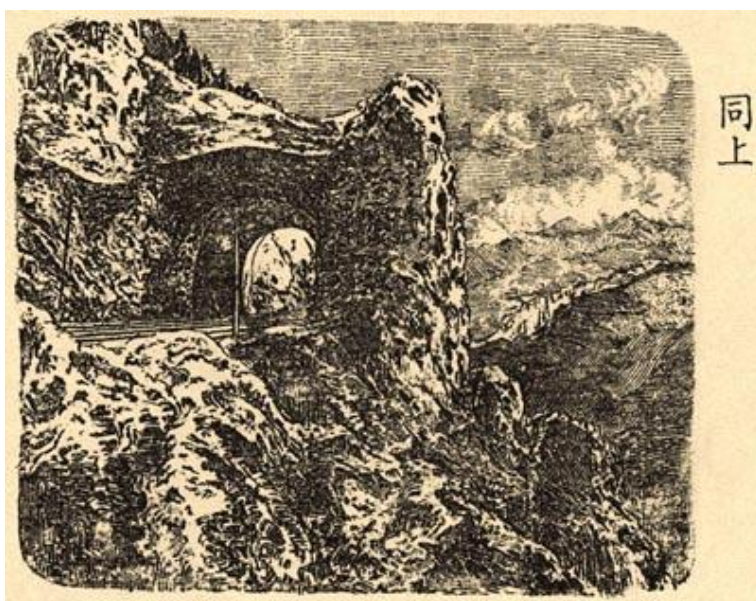
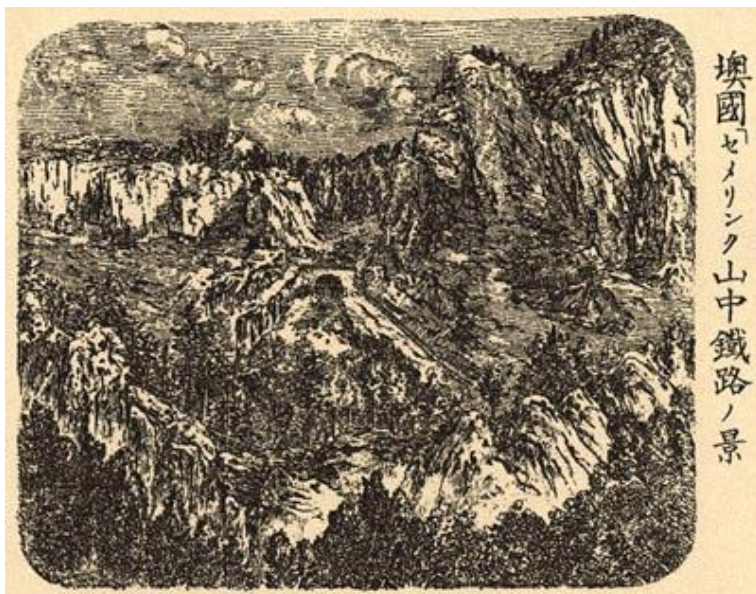
奥地利国「セメリンク」駅

## 同駅ヲ発シ鐵路ノ軌



同駅ヲ発シ鐵路ノ軌

## 奥国「セメリンク」山中鐵路ノ景



明治六年六月三日

七時ニ、「セメリング」ノ山腰ヲ回ル、「ナプレシナ」ヨリ此处マテ、二百八十六英里、奥国ニイリテヨリ、鐵路ハ常ニ山險ヲ越エ、山水ノ奇甚タ多キ中ニ、殊ニ此「セメリンク」ノ景ハ、人目ヲ聳カシ、鐵路建築ノ壯ヲ極メタレハ、今日鐵路ノ勝ハ、此ヲ第一トナスヘシ、

元来此辺ノ地勢ハ、ミナ奇巖怪石ニテ成リタル、山嶂ヲ相疊複シテ、谷底ニハ一帯ノ野ヲ環繞シタレハ、山上ヨリ俯瞰スルニ、已ニ気色アリ、乍チ一ノ隧道中ニ闖入シ、暗処ヲ走ルコト、八分時ニテ出レハ、洞口ノ一駅、人家六七戸アリ、村民花ヲ以テ、旅客ニ売ル、此ヲ「セメリング、ステーション」ト云フ、此ニ停車スル五分時ニテ発ス、是ヨリ高名ナル山陰ニカハル、峻峰相重リ、岩石ハ種種ノ奇状ヲナシ、岩間ニ疎疎樹鬣ヲ生ス、山容ミナ秀潤ノ致ナケレトモ、陰怪ヲ以テ勝ツ、凜森乎トシテ、鐵路ノ前夜ニ錯立シ、画画ノ峰頂、一トシテ險危ナラザルハナク、峻拔ナラザルハナシ、岩石ノ状ハ、筍ヲ束シタル如ク、天ニ向ヒテ集立シ、劍拔弩張シテ、眺望ノ眼ヲ刺ス、岩間ニ翠林アリ、林間ニ兀立ノ岩アリ、或ハ駢列スル壁ノ如ク、或ハ頽レテ崢嶸タリ、或ハ敬テ危兀タリ、山脚走リテ路ヲ塞ケハ、洞ヲ割テ背後ニ出ル、臥龍ノ頷ヲ探ルカト疑フ、已ニシテ両石対峙ノ谷ニ至レハ、高梁ヲ造リテ、双虎ノ踞ヲ超過ル、嶂壁乍チ分レ、鐵路ハ縹緲トシテ、其腰ヲ走ル、時ニハ規ノ如ク回り、時ニハ弓ノ如ク彎シ、下ハ不測ノ谷ニ臨ミ、上ハ無際ノ嶺ヲ駢ネ、時ニハ曲折シテ山ヲ渡リ、時ニハ線状ニ直行シテ野ヲ尽ス、谷陥レハ石橋ヲ築キ、弧形ノ柱ハ、三層四層ニ累架シ、雲ヲ渡ルノ廊ヲ走ル、忽然トシテ洞ニ入レハ、驟ニ瞑シテ又曙ケ、三洞相並ヒ、中ニ天光ヲ透ス、靈犀ノ燃ルカト訝ル、上ニ古城ヲ敬立シタルハ、天柱ノ折レタルカ如シ、時ニハ高サ千尺ノ上ヲ走リ、谷底ノ大道、糸縷ヲ曳キ、豆人寸馬ノ往來スルヲミル、車ノ駿奔ニ從ヒ奇景ノ眼界ニ湧出スルハ、名状応接ニ遑アラス、一時間行ヲ費シ、山陰ヲ終リ「ヒエリルバチ」駅ニ達ストキ已ニ七時半ナリ

## 維納府市中ノ広区攤市ノ景



明治六年六月三日

維納府ハ英仏ニテ「ヴィヤナ」ト云、多瑙河ノ西岸ニアリ、北緯四十八度十二分、東經十六度二十三分ニ位シ、人口八十三万四千二百八十四人アリ、其繁盛ナルコト、伯林府ニ匹敵シ、其莊麗ナルコト、巴黎ニ垂ス、多瑙河ハ、此地ニ至リテ支派数条ヲ分ツテ流レ、河中ニ洲島ヲナス、当府ハ其西派ノ一流ヲ含ミ、市屋ハ流ヲ挾ミ、洲上ニマテ溢レ、雲霓ヲ連ネ、府中ヲ流ルハ、西多瑙ノ支河ハ、其水勢甚タ浩汗ナラサルナリ、全府スベテ平地ニテ、市中ニ高低少ナシ、地気暖ニシテ、草木暢茂ス、

此府ノ繁盛ハ、仏国巴黎ト相競ヒ、一千年来ノ名都ニテ、其起源ハ甚タ久シ、蓋シ歐洲ノ文明ハ、漸漸ニ北ニ移ル、上古波斯ノ衰ヘル、希臘從テ盛ニ、今ノ土耳其孔士丹丁城ハ、一時盛ヲ競ヒシニ、其衰フルニ当リ、羅馬始メテ盛ニ、紀元前後ハ、文物ミナ以太利ニ鍾レリ、羅馬ノ衰フニ及ンテ、「ペヒン」帝ハ仏国ヲ起シ、「フォンテンプロー」ノ宮起リ（第三編第四十五卷ニ見ユ）、而「カアレル」帝、独逸ヲ征シテ、維納ヲトリテ、其都トナセシニ、嗣帝ノ時ヨリ内乱相尋キ、九百年代ヨリ奥国ノ都トナリタリ、是ヲ維納府ノ起リトス



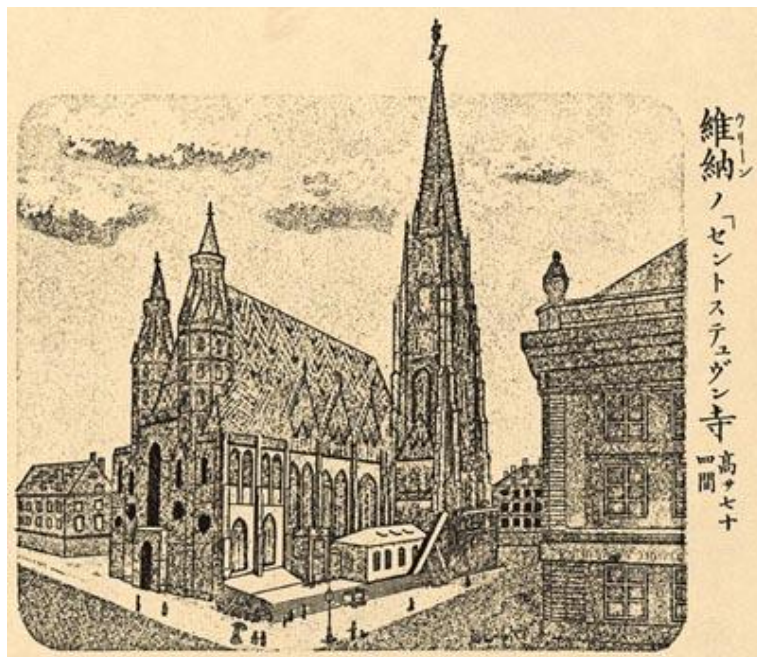
## 同府広街ノ景



明治六年六月三日

此都ノ旧部ヲ圉ミタル、五稜角ノ丘墨ハ、内外部ヲ隔絶シ、市民ノ生意ニ不便ナルヲ以テ、仏国巴黎府ノ「プートワルイタリヤン」ノ例ニナラヒ、一千八百五十七年、皇帝ノ命ヲ下シ、其丘墨ヲ取崩シテ平地トナシ、併セテ乾濠ヲ埋メ、濶五十七「メートル」ノ大路ヲ修メ、名ケテ「リングストラセ」ノ通街ト云、今ニ猶修繕中ナリ、此大路ニハ、人道、馬車、重車道、及ヒ中央ノ軽車道、合セテ五条ノ道ニテナル、各道ノ界線ニハ、緑樹ヲウエ、猶伯林府ノ「ウンテルデンリンデン」街ニ同シ、又街車ノ鉄規ヲシク、米利堅ノ都府ニ同シ、此ヲ府中ニ於テ第一ノ大衢トス、両側ノ家屋モ、ミナ壯麗ニテ、氣象甚タ雄美ナリ、然レトモ磬石ノ設ケハ、未タ整備セズ、乾燥ノ時ハ塵土飛散シ、雨後ニハ泥濘ヲ搔キタテ、水道ノ設ケ足ラスシテ、水ヲ灑シ塵ヲ鎮メル方法モ未タ完全セス、夜ハ氣燈ヲ照シテ、光華爛然タリ、電信柱ハ鉄ヲ以テ美麗ニ製セリ

維納ノ「セントステュヴン」寺〈高サ七十四間〉



同「ウルテポルク」宮

